

## 学会誌モニター募集のお知らせ

学会誌“情報処理”をより良くするために編集関係者一同努力を続けておりますが、学会誌についての会員の方々の評価や希望を知って今後の改善に役立てるために、このたびモニター制度を発足させることになりました。関心のある方はぜひふってご応募ください。

### 1) 応募の資格

- ・正会員、学生会員で、かつ下記の役割を積極的に果たしていただける方。

### 2) モニターの役割

- ・学会の指定する形式（本ページうらのアンケート用紙の形式に準ずる）の簡単な報告書を毎月提出する。  
学会誌の記事に対する感想，意見  
学会誌で取りあげるべきテーマの提案  
その他学会誌に対する全般的な意見や提案等

注）学会誌の記事をすべて読むようなことはかならずしも必要ありません。自分の立場や問題意識，得意とする分野等を基準とした“独断と偏見”による自由な意見を求めます

### 3) 期 間

- ・平成4年4月から1年間  
制度として継続したいと考えており，毎年公募します。  
モニターの再任についての制約はありませんが，特定の人に長期間お願いするよりできるだけ多数の方をお願いしたいと考えています。

### 4) 謝 礼

- ・年間1万円相当の図書券を差しあげます。

### 5) 募集人員

- ・20名。応募者多数の場合は学会誌編集委員会で決定させていただきます。

### 6) 応募しめきり

- ・2月末までに下記あてにご連絡ください（郵便またはFAX，形式自由）。  
氏名，連絡先（住所，電話，FAX），所属機関，得意とする分野（特にあれば），等を記入してください。

### 連 絡 先

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 学会誌編集係  
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

学会誌

この用紙を使ってご意見をお寄せください

宛 先: F A X 03 (3584) 7925 (本用紙を含む送信枚数 枚)

住 所 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

情報処理学会 学会誌編集係 御中

発信者: (芳名) \_\_\_\_\_ (会員番号) \_\_\_\_\_

(ご所属) \_\_\_\_\_ (電話番号) \_\_\_\_\_

\*評価は次の5段階でご記入ください。

5. 非常に良い 4. 良い 3. 普通/なんともいえない 2. 悪い 1. 非常に悪い

[1] 学会誌の改善についてのご意見やご提案がありましたら自由にお書きください。

「編集室」に掲載することがあります。その場合 実名可, 匿名希望, 掲載不可

[2] 今月号(1992年2月号)の記事の中であなたが読まれた記事及び今月号全般についてのあなたの評価をご記入ください。

解 説

分子軌道法の基礎理論とその応用.....

計算機教育用マイクロコンピュータの開発とその応用.....  
—集積回路技術を利用した情報工学実験—

ビジュアルインタフェース—画像による論理情報の新しい伝達法—.....

B-ISDN 用 ATM 交換機のアーキテクチャ.....

DASH: スケーラブル共有メモリ型マルチプロセッサ.....

IC 技術で作るまめシステム.....

「情報処理専門教育について」情報処理専門教育の一実例.....  
—大学における情報工学教育の理念と実現—

「情報処理専門教育について」情報学科カリキュラムの一例.....

文書記述言語の標準化動向-III 国際規格; 文書スタイル意味指定言語 (DSSSL) の概要...

「海外の並列処理研究動向」 エジンバラ大学における並列処理研究.....

1992年2月号全般についての評価 .....

評 価		
総 合	分 り 易 さ	内 容
★	★	★

## 会 告 目 次

平成4年度役員選挙について	2
研究発表会開催通知	5
第5回 情報メディア研究会	5
第41回 ヒューマンインタフェース研究会	6
第84回 ソフトウェア工学研究会	7
第54回 マルチメディア通信と分散処理研究会	8
第81回 人工知能研究会	8
第13回 人文科学とコンピュータ研究会	9
第6回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会	10
第88回 自然言語処理研究会	10
第54回 オペレーティング・システム研究会	11
第87回 データベース・システム研究会	12
第66回 記号処理研究会	12
第38回 情報システム研究会	13
第40回 数値解析研究会	13
第26回 アルゴリズム研究会	14
第85回 計算機アーキテクチャ研究会	14
第77回 コンピュータビジョン研究会	15
平成4年度研究会のお知らせ	17
計算機アーキテクチャ研究会・マイクロコンピュータとワークステーション研究会統合	19
グラフィクスとCAD研究会設立10周年記念「CG作品集」ができました	19
研究発表会開催予定(1992年4月～1993年3月)	20
情報処理学会第44回全国大会(平成4年前期)参加について	24
「チュートリアル・セッション」開催について	25
「JCRN セミナー」開催について	27
「ソフトウェア再利用技術シンポジウム」論文募集	28
「画像の認識・理解シンポジウム」論文募集	29
第22回 安全工学シンポジウム講演募集	30
第五世代コンピュータ国際会議1992	31
ISADS 93—CALL FOR PAPERS	33
書評・文献紹介・ニュース募集のお知らせ	34
日本複写権センター発足と複写権委託表示について	35
特許関係の論文発表証明手数料の徴収について	35
平成4年度会費および論文誌・欧文誌購読費の納入について	36
論文誌・欧文誌の購読のおすすめ	36
新年度にあたって(お願い)	36
有料会告について	38
支部だより	39
本会協賛等の行事案内	39
会議案内	40
教官募集	42
雑 報	42
編 集 室	42

## 平成4年度 役員選挙について

本会定款第20条にもとづき、来る5月21日(木)開催の第34回通常総会をもって本会役員の半数が退任します。平成4年度の役員選挙は、2月初旬に別途送付しました投票用紙(往復はがき)により行いますので、正会員各位は下記の要領により、同投票用紙にておれなく投票をお願いいたします。

投票用紙記載の候補者は、有権者の参考にあつたために、本会理事会が推薦したものです。これらの候補者の中から選定される場合は、下記の候補者名簿を参照のうえご投票ください。ただし、これらの候補者以外の会員(正会員に限る)を選定される場合は、それぞれの区分の空欄に氏名、所属をご記入ください。

### 記

1. 別送の投票用紙(返信はがき)の選定欄に○印をおつけください。
2. 副会長は1名の単記、理事は、教育分野では3名以内、製造分野では4名以内、利用他分野では2名以内の連記、監事は1名の単記とします。これをこえた場合は無効となりますので、ご留意ください。
3. 改選定数は、副会長1名、理事9名、監事1名です。
4. 投票の締切は平成4年3月5日(木)の郵便消印があるものまで有効といたします。
5. 投票用紙(はがき)は料金受取人払いですから、切手を貼付する必要はありません。
6. 投票用紙記載の候補者は50音順です。
7. 1月20日現在で本年度会費未納者には投票用紙は送付いたしません。

## 平成4年度 役員改選候補者名簿

(氏名は五十音順)

役職名	候補者氏名 (出身校卒年)	勤務先および役職名 (平成4年1月現在)	略歴・専門分野等	
副会長	相磯 秀夫 (慶大30卒)	慶応義塾大学環境情報学部長	電総研にて計算機アーキテクチャの研究開発に14年間従事。昭和46年慶大工学部教授を経て、平成2年現職。元学会理事・研究会主査・国際委員。次世代コンピュータ、環境情報について研究中。	
	長尾 真 (京大35卒)	京都大学工学部教授	言語情報処理、機械翻訳、パターン認識、画像処理等の研究に従事。昭和48年より現職。学会理事2回、日本認識科学会前会長、機械翻訳国際連盟を設立、初代会長。前京大大型計算機センター長。	
理事	教	稲垣 康善 (名大37卒)	名古屋大学工学部教授	名大助教授、三重大教授を経て、昭和56年現職。オートマトンと形式言語、代数的仕様記述法、形式的意味論など、基礎分野の研究と教育に従事。元学会誌・欧文誌編集委員。ソフトウェア科学会元理事、人工知能学会理事。
		亀田 壽夫 (東大40卒)	電気通信大学 電気通信学部教授	東大、ワトソン研、トロント大、電通大にてOS・性能評価の研究に26年間従事。昭和60年現職。元学会誌・欧文誌編集委員・研究会主査・幹事。分散システムのOS、性能評価、人間工学的側面を研究中。
	育	齊藤 忠夫 (東大38卒)	東京大学工学部教授	東京大学にてデジタル通信方式、計算機アーキテクチャ、ネットワークの研究・教育に従事。現在、教育用計算機センター長。学会規格委員会SGFS国内委員長、OSIアジアオセアニアワークショップ会長。
		高木 幹雄 (東大35卒)	東京大学生産技術研究所 機能エレクトロニクス研究センター教授	昭和40年より東大生研において研究に従事。第3部、多次元画像情報処理センターを経て、昭和59年現職。元学会研究会幹事。画像処理、コンピュータビジョン、地球環境情報処理に関する研究に従事。
	分	田畑 孝一 (京大38卒)	図書館情報大学 図書館情報学部教授	京大情報工学科助教授として音声、コンピュータネットワークの研究に従事。昭和57年より現職。元学会誌・欧文誌編集委員。OSI-JIS調査研究委員会委員長。並行LISP、マルチメディア知識ベースを研究中。
		土居 範久 (慶大39卒)	慶応義塾大学理工学部教授	慶大情報科学研究所教授を経て現職。査読委員、奨励賞委員。30周年国際会議運営委員、元学会欧文誌編集委員・論文賞選定委員。OS、オブジェクト指向計算、情報セキュリティ等を研究中。

役職名	候補者氏名 (出身校卒年)	勤務先および役職名 (平成4年1月現在)	略歴・専門分野等
製造分野	市原 達朗 (京大42卒)	オムロン取締役 システム総合研究所長	CAD/CAM, 情報管理システム(交通管制システム, 流通システム, 企業内情報管理)の研究開発およびワークステーションの開発に従事。Σプロジェクト委員, PCES協議会会長, 地域ソフトウェアプロジェクト理事。
	加藤満左夫 (慶大30卒)	富士ゼロックス 常務取締役	NTT 通研にて電子交換, パケット交換の実用化, プロトコルの研究に従事。昭和41~43年イリノイ大学客員教授, 高度並列計算機の研究。平成2年現職。IEEE 会員, ICCCL 理事。
	箱崎 勝也 (九大38卒)	日本電気 C&C システムインタフェース技術本部長	日電中央研究所にてコンピュータアーキテクチャの研究開発に従事。昭和62年より現職。元学会誌・欧文誌編集委員。分散システム, ネットワーク, 性能評価, 適合性試験の研究開発に従事。
	林 弘 (東大42卒)	富士通研究所 プロセッサ推進室長	富士通研究所にて並列処理アーキテクチャ・人工知能の研究(並列推論マシン・PIM, LISPマシン・FACOM α)に従事。学会研究委員会幹事, 並列シンポジウム(JSPP)副委員長。並列処理アーキテクチャについて研究中。
	坂 和磨 (東大36卒)	三菱電機コンピュータ製作所副所長	汎用コンピュータ, 小型コンピュータの開発推進責任者を経て, 平成2年よりコンピュータ製作所副所長として, コンピュータ全般の技術面統轄, 新製品開発の推進に従事。通産省, 日本電子工業振興協会等の委員を歴任。
	松永 伍生 (明大39卒)	日立製作所 情報事業本部・マーケティング本部長	ソフトウェア工場(現ソフトウェア開発本部)にて, 汎用コンピュータ用 OS, 言語・アプリケーションプログラムの設計業務および基本ソフトウェア企画業務に従事。平成元年現職。新分野の事業化展開等担当。
	山崎 正人 (東工大41卒)	松下電器産業 情報通信東京研究所基礎研究部長	電総研にて, 知能ロボット, 材料設計など知識ベースシステムの研究に従事。昭和61年松下電器に入社, 計画型エキスパートシステム等の知識ベースシステムの研究開発に従事。第5世代コンピュータプロジェクトを推進。
米田 英一 (東大34卒)	東芝システムインテグレーション開発部長	東芝の情報システム部門で技術計算他社内電算化業務に17年間, 計算機事業部門で技術部長・技師長等の技術行政に12年間従事。平成元年現職。元学会誌編集委員。計算機と社会・文化全般との係わりに深い関心を有す。	
事 用 他 分 野	磯崎 澄 (東大43卒)	NTT データ通信 ソフトウェア開発部長	データ通信システムの開発・設計に14年間従事。キャプテンシステム, 官公庁, 医療情報システム等の開発を担当。平成3年2月現職。ソフトウェアの開発技法, 品質・生産性の向上に従事。
	八賀 明 (東大41卒)	鉄道総合技術研究所 輸送・情報研究部長	旧国鉄(技研・本社)にてヤードの自動化・知能工学応用等の研究開発に24年間従事。平成3年現職。IFIP 東京大会実行委員, 元学会誌編集委員・研究会連絡委員。鉄道におけるエキスパートシステムを開発中。
	古川 康一 (東大40卒)	電子技術総合研究所 知能システム部主任研究官	電総研にて, ETSS, データベース, 人工知能の研究に従事。昭和57年 ICOT へ出向。平成3年11月電総研へ復帰。学会査読委員, 元学会誌・論文誌編集委員・研究会幹事。並行論理プログラミング, 機械学習を研究中。
	弓場 敏嗣 (神戸大39卒)	電子技術総合研究所 情報アーキテクチャ部長	電総研にて, 計算機アーキテクチャ, OS, アルゴリズムの研究に従事。知能システム部長を経て, 平成2年現職。元学会誌編集委員。並列処理技術, 特に超並列システムについて現在興味を持つ。
監 事	高橋 延匡 (早大32卒)	東京農工大学工学部教授	日立中研にて, 5020 モニタ, TSS などの研究開発に20年間従事。昭和52年4月より現職。日本語情報処理, OS, 教育の研究に情熱を注いでいる。学会論文誌編集委員, 情報処理教育カリキュラム調査委員会委員長。
	竹下 亨 (京大32卒)	中部大学経営情報学部教授	IBM に35年, 米国勤務3回9年, 昭和61年日本 IBM 理事。IBM 本社, 東京基礎研を経て, 平成3年12月現職。元学会理事, 人工知能学会前理事。プログラム言語, ソフトウェア工学ほかソフトウェアと SE 全般に関心。

平成4年度留任役員名簿

役員名	氏名	勤務先
会長	萩原 宏	龍谷大
副会長	小林 亮	日電
理事	大野 侑郎	東芝情報システム
理事	大斎 藤信男	慶大
理事	佐藤 繁城	富士通
理事	鶴保 征城	NTT
理事	勅使河原 可海	日電
理事	春名 公一	日立
理事	松下 温一	慶大
理事	村岡 洋	早大
監事	山田 郁夫	三菱

退任役員名簿

役員名	氏名	勤務先
副会長	石田 晴久	東大
理事	伊藤 貴康	東北大
理事	藤村 幸男	鉄道総研
理事	杉山 元伸	NTT データ通信
理事	春原 中穂	三菱
理事	田名 取積	東工大
理事	西 和彦	筑波大
理事	発田 弘司	アスキー
理事	山本 晃	日立
監事	安井 敏雄	日本IBM

会  
社



# 研究発表会開催通知

(平成4年2月15日～3月31日)

研究会	日	時	会場	備考
設計自動化	2月21日(金)	13:00～17:00	機械振興会館	前号参照
グラフィクスとCAD	2月21日(金)	13:30～17:40	日電(大阪)	同上
情報メディア	3月2日(月)	9:00～17:00	日電(本社)	下記参照
ヒューマンインタフェース	3月2日(月) 3月3日(火)	11:00～17:30 9:00～17:00	北大	同上
ソフトウェア工学	3月3日(火)	9:30～17:00	機械振興会館	同上
マルチメディア通信と分散処理	3月5日(木)	9:30～17:00	同上	同上
人工知能	3月5日(木)	10:00～16:30	I C O T	同上
人文科学とコンピュータ	3月6日(金)	10:00～17:00	出雲市立 図書館	同上
プログラミング—言語・基礎・実践—	3月12日(木)	10:30～16:30	NTT (武蔵野)	同上
自然言語処理	3月12日(木) 3月13日(金)	10:00～17:15 10:00～15:00	徳島大	同上
オペレーティング・システム	3月13日(金)	10:00～16:30	機械振興会館	同上
データベース・システム	3月16日(月)	9:20～17:00	同上	同上
記号処理	3月16日(月)	10:30～17:00	NTT (武蔵野)	同上
情報システム	3月16日(月)	12:30～17:00	日本ユニシス	同上
数値解析	3月21日(土)	10:00～15:30	統数研	同上
アルゴリズム	3月23日(月)	9:00～14:20	津田塾大	同上
計算機アーキテクチャ	3月23日(月)	10:00～18:35	機械振興会館	同上
コンピュータビジョン	3月27日(金)	10:00～17:00	同上	同上

## ◆ 第5回 情報メディア研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 相磯秀夫, 幹事: 石塚英男, 上林憲行, 田中 謙, 中川 透)

日 時 平成4年3月2日(月) 9:00～17:00

会 場 日本電気 本社ビル (NEC スーパータワー) 地下1階 多目的ホール

(東京都港区芝公園 5-7-1, JR: 田町下車, 徒歩5分. Tel. 03 (3454) 1111)

議 題

—9:00～12:15—

(1) リアルティユーザインタフェース

神場知成 (日電)

〔概要〕 マルチメディアを制御対象でなくインタラクシオンメディアとして用いる可能性を論じる。

(2) 音声と映像コマンドを統合したマルチメディアインタフェース

間瀬健二, 末永康仁 (NTT)

〔概要〕 身振り手振りの映像と音声によるコマンドで対話するシステムの概念と実現例を示す。

(3) 地図情報処理におけるマルチメディア DB 嶋田 茂 (日立)

[概要] 地図情報処理で扱うメディア情報 (座標・画像等) を扱うオブジェクト指向の DBMS を構成した。

(4) 究極のコミュニケーション —パソコン通信からハイパーネットワークへ—

会津 泉 (ネットワーキングデザイン研究所)

[概要] パソコン通信の特性及び、B-ISDN 等をふまえた未来のネットワークの姿を考える。

—13:15~17:00—

(5) 高度情報社会と身体性

大山茂夫 (朝日新聞)

[概要] 現代における人間の内面のイメージの衰弱と、身体の根源的イメージを求める動きを論じる。

(6) パネル討論: 情報メディア時代のコンピュータイメージ処理

—マルチメディア化を待ち受ける感性と慣性の壁—

司会 田村秀行, 北村素子 (キャノン)

① 通信分野の立場から

小野定康 (NTT)

② 放送分野の立場から

柴田正啓 (NHK)

③ 印刷・出版分野の立場から

石塚英男 (電子ライブラリーコンソーシアム)

④ AV 機器メーカーの立場から

阿部祐三 (三洋電機)

⑤ デザイン分野の立場から

大平智広 (東海大)

### ◆ 第41回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 20件)

(主査: 安西祐一郎, 幹事: 井関 治, 小川克彦, 廣瀬通孝)

日 時 平成4年3月2日 (月) 11:00~17:30

3日 (火) 9:00~17:00

会 場 北海道大学 工学部

[札幌市北区北13条西8丁目, 札幌駅より地下鉄: 北12条下車, 徒歩10分, Tel. 011 (716) 2111 内 6469]

#### 議 題

3月2日 (月)

—11:00~12:45—

#### ● モデルと分析

司会: 来住伸子 (日本IBM)

(1) 日本語文書における表記述のための表モデルについて

三浦好弘, 古川善吾, 牛島和夫 (九大)

[概要] 日本語文書の表は英語文書と異なる点がある。日本語文書の表の記述言語で用いる表モデルの報告。

(2) サーチャのノウハウに見る検索インタフェース

下山栄子 (富士通)

[概要] 専門のサーチャと一般のユーザの検索履歴を比較することによるサーチャの検索ノウハウの分析。

(3) ソフトウェアの発注者 —開発者会議におけるインタラクションの分析—

西 正博, 海谷治彦, 佐伯元司 (東工大)

[概要] ソフトウェアの開発会議におけるインタラクションの分析方法の提案とこれを用いた分析。

—13:30~17:30—

#### ● HI システム

司会: 安西祐一郎 (慶大), 浜田 洋 (NTT)

(4) 特別講演: 次世代情報処理のプラットフォームとしてのシンセティックメディアアーキテクチャ

田中 譲 (北大)

[概要] 次世代の包括的, 開放的, 統合プラットフォームとして, シンセティックプログラミングに基づくメディアシステムアーキテクチャを提案。

(5) コンストラクションセットを持つマイクロワールド

野口孝文 (釧路高専), 田中 譲 (北大)

[概要] 北大で開発中の Intelligent Pad を用いた新しい道具を増やすことのできる CAI の作成。

(6) 遺伝子アルゴリズムを用いた対話型図形配置

増井俊之 (シャープ)

[概要] 遺伝子アルゴリズムを用いて有向グラフを二次元空間中对話的に配置するシステム。

#### ● 福 祉

司会: 森川 治 (製科研)

(7) アニメーションによる日本語手話表現に関する基礎的検討

寺内美奈 (職業訓練大), 長嶋祐二, 三原浩樹, 長嶋秀世 (工学院大), 大和玄一 (職業訓練大)

[概要] 日本語文章からの手話アニメーションの生成および表示。

(8) トータルコミュニケーション支援用辞書構築に関する検討

長嶋祐二 (工学院大), 寺内美奈 (職業訓練大), 佐藤 攻 (工学院大)



〔概要〕 視覚障害者と健常者とのコミュニケーションのために必要な辞書構築。

(9) 福祉分野におけるパーソナルインタフェースの研究

北風晴司 (日電)

〔概要〕 利用者の身体的特性および用途に適応したインタフェース構築手法の検討と障害者向けデバイスの開発。

3月3日(火)

—9:00~12:00—

#### ●入出力インタフェース

司会：角田博保 (電通大)

(10) 音声合成における音声強調インタフェースの設計法

浜田 洋, 千葉仁一 (NTT)

〔概要〕 GUI による音声合成コントローラを用いた音声強調インタフェースの設計法。

(11) 多段差分生成によるユーザ操作記録の自動比較

来住伸子 (日本IBM)

〔概要〕 UI 評価のための操作記録解析ツール。

(12) 打鍵署名の経時変化と個人認証性

角田博保, 浅井有希, 粕川正充 (電通大)

〔概要〕 同一打鍵列を1000回繰り返し打鍵した時間データをもとにした打鍵署名の有効性の検討。

(13) ペンの操作性に関する実験的研究

小野 真 (日本IBM)

〔概要〕 ペンの操作性に関し、直接/間接操作の制御実験およびマウスとの比較。

(14) 3次元直接操作インタフェース

吉村哲也 (松下電器)

〔概要〕 3次元位置方向が入力できるペン型デバイスを用いた立体等の3次元直接操作インタフェース方式。

—13:00~17:00—

#### ●人工現実感と協調作業のインタフェース

司会：廣瀬通孝 (東大)

(15) VR 技術を利用した遠隔監視・制御システムの設計

名井 健 (東京電力)

〔概要〕 電力機器を遠隔監視・制御する方式検討および制御室の設計を強化するための VR 技術。

(16) 人間とロボットの協調作業は可能か? —オフィスロボットシステム HuRIS—

山本吉伸, 佐藤 充, 安西祐一郎 (慶大)

〔概要〕 人間に協力を依頼するロボットシステム HuRIS の紹介と、われわれの行っている心理学的実験の報告。

(17) Virtual Office の基本的設計と基本部分の実現

上林彌彦, 高田秀志, 渡辺正子, 稲森 豊 (京大)

〔概要〕 研究室で開発中の、オフィスでの共同作業支援システムの基本的機能とその実現。

(18) Clear Board: シームレスな協同描画空間のデザイン

小林 稔, 石井 裕 (NTT)

〔概要〕 対話空間と協同作業空間をシームレスに統合した協同描画空間のメタファーとプロトタイプデザイン。

#### ●認知インタフェース

司会：三宅芳雄 (NTT)

(19) 認知機構の汎用シミュレータ

大野健彦, 乗松敏雄, 木村 泉 (東工大)

〔概要〕 ACT\* 理論をもとに使いやすさに特に配慮して、人の認知機構の汎用シミュレータを独自に開発。

(20) 認知機構の汎用シミュレータによるキー配列習得のモデル化

下郡信宏, 木村 泉 (東工大)

〔概要〕 ACT\* 理論に基づくキー配列習得のモデル化とシミュレーションおよび実験データとの比較検討。

### ◆ 第84回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数：8件)

(主査：原田賢一，幹事：宇都宮公訓，大槻 繁，大蒔和仁)

日 時 平成4年3月3日(火) 9:30~17:00

会 場 機械振興会館地 地下3階 2号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR: 浜松町下車, バス: 渋谷—東京タワー線東京タワー, 渋谷—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel 03 (3434) 8211〕

#### 議 題

—9:30~11:40—

(1) 要求分析段階のモデル表現技法

片山佳則 (富士通研)

〔概要〕 対象としている開発領域をモデル化するためのオブジェクト指向表現メカニズムの改良点。

(2) 仕様記述法 HSC の適用と評価

黄 錦 法, 高橋 薫, 白鳥則郎 (東北大)

〔概要〕 シーケンス図に基づいた仕様記述法 HSC の適用とそれを通じた HSC の評価。

(3) 画像検索システムへの OMT 手法の適用

山城明宏, 手島文彰, 井上勝博, 前田伊知朗 (東芝)

〔概要〕 医用画像検索システムの開発にオブジェクト指向分析/設計手法 OMT を適用した結果。

## —13:00~17:00—

- (4) 変換系の検証における分割統治法の有効性について 栗野俊一, 深澤良彰 (早大)  
〔概要〕 変換系がもつ共通な性質に着目した分割統治法, およびこれを用いた変換系の検証手法とその有効性。
- (5) ソフトウェア開発のコストダウンモデルとその適用 青山幹雄, 小笠原喜典, 藤本 洋 (富士通)  
〔概要〕 開発ライフサイクルを通じた総合的コストダウンモデルを提案し, 大規模開発に適用した経験の報告。
- (6) 制御ソフトウェアのソフトウェアアーキテクチャモデル 清水洋子 (東芝)  
〔概要〕 変更容易性を考慮した制御ソフトウェア構造と, エレベータ制御ソフトウェアに対するその適用。
- (7) 大規模組込みソフトウェア開発の一支援方式 大塚壮一 (日電技術情報システム), 中本幸一 (日電)  
〔概要〕 組込み用ソフトウェアの構成を記述する言語と, ターゲットプログラムを構築する開発支援システム。
- (8) 絵コンテ式のビジュアルプログラミング 小澤正樹 (東京電力)  
〔概要〕 処理の対象と操作・手順を映画の絵コンテ風に表現することを特徴とするビジュアルプログラミング。

## ◆ 第54回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 河岡 司, 幹事: 滝沢 誠, 寺中勝美, 水野忠則)

日 時 平成4年3月5日(木) 9:30~17:00  
会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)  
議 題

## —9:30~12:10—

- (1) 多次元情報システムの提案 佐藤 基 (NTT)  
〔概要〕 分散配置された情報自身とリンク関係の変更を繰り返すことで動的に進化する情報システムの提案。
- (2) パーソナル通信用アドレス管理データベースの検討 斎藤典明 (NTT)  
〔概要〕 オフィスにおけるパーソナル通信サービスのアドレス管理用 DB へのダイナミックハッシュ法の適用。
- (3) 複数チャネルを用いた最適データ転送方式の提案 平田俊明, 近藤 毅, 宮崎 聡 (日立)  
〔概要〕 転送データを有限個の複数のチャネルを用いて最小時間で転送できるデータ転送方式の提案。
- (4) LOTOS 記述に対するテストシステムの試作 李 湘東, 安本慶一, 東野輝夫, 谷口健一 (阪大)  
〔概要〕 整数型のデータを含む LOTOS 記述に対するテスト系列の生成とそれを用いたテストシステムの試作。

## —13:00~17:00—

- (5) SNMP を利用したエキスパートネットワーク管理システム (AIMS) の実現と利用  
村田真人, G. Mansfield, 時庭康久, K. Jayanthi, 樋口謙一 (A I C), 和泉宏明 (日立ソフト)
- (6) マルチメディアメッセージ通信系の時間多元・帯域多元トラヒックの相関について  
松山 修, 蔵本圭介, 服部進実 (金沢工大)  
〔概要〕 マルチメディアトラヒックの蓄積系での時間, 帯域多元特性に関し SLAM II でシミュレーション評価。
- (7) Capacity-Based Video Transmission on ARTS  
戸辺義人 (東芝), Stephen T. Chou, 徳田英幸 (CMU)  
〔概要〕 ARTS 上でネットワーク帯域およびスレッド実行能力に応じたビデオ通信を行う方法について述べる。
- (8) サーキュレーションプロトコルによる分散協調エージェントシステム  
新井敏正, 中沢 実, 服部進実 (金沢工大), 山村尚一 (PFU)  
〔概要〕 対話状態遷移メッセージ回覧と推論機構により機能分散問題解決を行うシステムに関し実装を含め論述。
- (9) 分散形ソフトウェア開発環境のセキュリティ方式 浅見秀雄, 宮脇正守, 田中 清, 福山峻一 (NTT)  
〔概要〕 複数社で共用する分散形ソフト開発環境で社間の情報交流と社の機密保護とを両立させる方式を述べる。
- (10) UNIX システムにおけるマルチメディア電子メールシステムの実現  
太田順也 (富士通関西通信システム), 桜井秀之 (日立東北ソフトウェア), 石田晴久 (東大)  
〔概要〕 UNIX 上で音声, 画像等のマルチメディア情報の伝達を電子メールシステムで実現する方法を述べる。

## ◆ 第81回 人工知能研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 石塚 満, 幹事: 原口 誠, 松原 仁, 吉田裕之)

日 時 平成4年3月5日(木) 10:00~16:30  
会 場 新世代コンピュータ技術開発機構 (ICOT) アネックス会議室

〔東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル・アネックス, JR (山手線): 田町下車, または地下鉄 (浅草線): 三田下車, 徒歩 10 分, 地下鉄 (三田線): 芝公園下車, 徒歩 5 分. Tel. 03 (3456) 3192 (前田)〕

## 議 題

—10:00~12:00—

- (1) グループ通信における Know-When 知識の獲得の検討 山上俊彦 (NTT)  
〔概要〕 非同期グループ通信においてメンバの通信行動を推定する Know-When 知識とその獲得方法。
- (2) ブラックボックスの入出力間の定性的因果関係モデルを自動獲得する手法の検討 安部伸治 (NTT)  
〔概要〕 系を構成する複数変数間の定性的な関係から, 定性的な有理式モデルで系を定式化する手法。
- (3) first-order 定義可能な様相論理の定理証明器について 樺 肅之 (NTT)  
〔概要〕 first-order 定義可能な様相論理に対して, prefixed-tableau 法を拡張した定理証明器。
- (4) 帰納的学習におけるバイアスの選択 山田太一 (名工大)  
〔概要〕 帰納的学習において, バイアスの自動的な移動を可能にするためのバイアスの選択基準。

—13:15~16:30—

## 特集: 計画・設計型知識システムとその基礎技術

- (5) 依存関係管理による制約充足問題解決 古渡 聡 (名工大)  
〔概要〕 制約ネットワークにおける値間の依存関係を明示化し管理することによる制約充足問題の解決。
- (6) 制約違反の十分条件を用いた離散的制約充足/最適化 丸山文宏 (富士通研)  
〔概要〕 計画・設計型問題を離散的制約充足/最適化問題と見た時の制約違反の十分条件を用いた手法。
- (7) 0-1 計画法を用いて最適解を求める仮説推論法 岡本知樹, 石塚 満 (東大)  
〔概要〕 仮説推論において, 評価関数を最適化するような解仮説を 0-1 計画法を援用して得る手法。
- (8) 遺伝アルゴリズムを用いたジョブショップ問題の新解法 山田武士, 中野良平 (NNT)  
〔概要〕 遺伝アルゴリズムによるジョブショップ問題の新解法の提案と, 大規模な問題への適用性。
- (9) AI の対話形受講計画生成システムへの一応用 黒野洋史 (愛知工大)  
〔概要〕 学生の要望に沿った週間受講計画を AI のかつ対話的手法を応用して生成するシステム。
- (10) 不定個数の部品を扱うパラメトリック設計 ES 構築ツール 北川哲也 (東芝)  
〔概要〕 ダイナミックに設計の構成要素が決定される問題を対象とした, 設計 ES 構築ツールの開発。

## ◆ 第 13 回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 杉田繁治, 幹事: 及川昭文, 小澤一雅, 洪 政国)

日 時 平成 4 年 3 月 6 日 (金) 10:00~17:00

会 場 出雲市立図書館 多目的室

〔出雲市大津町 1134, JR (山陰本線): 出雲下車, 徒歩 20 分, (出雲市商工会議所隣り), Tel. 0853 (21) 0487〕

## 議 題

—10:00~12:00—

- (1) 映像資料の意味分析によるハイパーメディア構造化の一手法 —民族学資料を題材として—  
山田契治, 洪 政国 (日本 IBM), 鈴村 明, 杉田繁治 (民博)  
〔概要〕 既存の映像資料からハイパーメディアへと構造化するための手法と実際例。
- (2) 4 次元歴史空間システムの構想 加藤常員, 小澤一雅 (大阪電通大), 都出比呂志 (阪大)  
〔概要〕 歴史事象の時間的変化を捉えることができるデータベースシステムの構想。
- (3) 講演会における情報伝達速度についての一考察 及川昭文 (茨城大)  
〔概要〕 講演会等で話者が伝えたいテーマがどの程度聴衆に伝わっているか, 聴衆の感想文を分析, 考察。

—14:00~17:00—

- (4) 「宗門改帳」データベースシステム (DANJURO) の開発 川口 洋 (東京家政学院筑波短大)  
〔概要〕 江戸時代の人口史料「宗門改帳」から人口の指標を出力するデータベースシステム。
- (5) 電気に関する史料情報のデータベースシステム 卯月一好, 小澤正樹, 荒井重信 (東京電力)  
〔概要〕 電気に関する史料の文字, 静止画, 映像, 音声情報を統合した試作データベース。
- (6) 地域情報のデータベース化 富岡 健 (富士興業)

〔概要〕 情報受信型から情報発信型への転換を目指した地域情報のデータベース化の試み。

(7) 出雲市総合福祉カードシステム 布野勝巳(出雲市役所)

〔概要〕 総合福祉カードシステムの導入経緯, システムの現状(特に医療現場), 今後の課題。

◆ 第6回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 安村通見, 幹事: 久世和資, 萩谷昌己, 松岡 聡)

日 時 平成4年3月12日(木) 10:30~16:30

会 場 NTT 武蔵野研究開発センター 1-204B

〔武蔵野市緑町 3-9-11, JR(中央線):三鷹(北口)下車, 関東バス:電気通信研究所前行き終点, または北裏行き武蔵野市役所前下車, 徒歩5分. Tel. 0422(59)4527(高田)〕

議 題

—10:30~12:30—

(1) 仕様記述言語 LOTOS におけるリフレクション: RLOTOS 鶴飼孝典, 広井 武, 佐伯元司(東工大)

〔概要〕 仕様記述言語 LOTOS にリフレクティブ機構を組み込んだ言語 RLOTOS の提案とその実践方法。

(2) 有限状態 CSP のモデル検査 浅井健一, 松岡 聡, 米澤明憲(東大)

〔概要〕 有限状態 CSP のプログラムに対しモデル検査の手法を適用することで種々の性質の自動検証を実現。

(3) 遅延ナローイング抽象機械 井田哲雄, 鈴木太朗, 中村敦司, 中川康二(筑波大)

〔概要〕 遅延ナローイングに基づく関数論理型言語処理系の概要とコンパイラの対象機械である抽象機械。

—13:30~16:30—

(4) Declarative Semantics of Logic Programs on Specialization Systems 赤間 清(北大)

〔概要〕 論理プログラミングの理論を簡潔な公理の上に構築する。一般化論理プログラムの例と宣言的意味論。

(5) 関数型言語の実行メカニズムとしてのユニフィケーション 繁田良則, 赤間 清, 宮本衛市(北大)

〔概要〕 関数型言語 Miranda における, 高階関数や遅延評価機構をユニフィケーションの概念で説明する。

(6) コンパイラの意味処理の疎粒度並列処理の実現と評価 西山博泰(筑波大)

〔概要〕 コンパイラの意味処理に対して疎粒度並列処理を取り入れた方式の実現とその実験結果。

(7) ハードウェアインタプリタ向けの解析木の形式と実行アルゴリズムの設計 関 曉 薇, 板野肯三(筑波大)

〔概要〕 C言語の解析木を直接実行するハードウェアインタプリタの実行アルゴリズムと解析木の形式。

◆ 第88回 自然言語処理研究会

(発表件数: 15件)

(主査: 野村浩郷, 幹事: 田中裕一, 徳永健伸, 内藤昭三)

日 時 平成4年3月12日(木) 10:00~17:15

13日(金) 10:00~15:00

会 場 徳島大学 工学部 知能情報工学科 D11 教室

〔徳島市南常三島町 2-1, JR:徳島下車, 徳島バス(乗り場 1, 3):徳大前下車, または市営バス(乗り場 5, 6, 7):

助任橋(約10分)下車, 徳島空港よりは市営バス:徳大前(約30分)下車. Tel. 0886(23)2311 内 4752〕

議 題

3月12日(木)

—10:00~12:00—

(1) 並列構造の検出に基づく長い日本語文の構文解析 黒橋禎夫, 長尾 真(京大)

〔概要〕 文中の並列構造を検出しておくことによる単純な係受け解析を行うのみの非常に高精度な構文解析。

(2) 文の接続関係解析に基づく文章構造解析 福本淳一, 安原 宏(沖電気)

〔概要〕 日本語文章の文の接続関係から得られた規則を用いて文章の構造解析を行った。

(3) An Evidential Model of Syntax for Understanding Nigel Ward(東大)

〔概要〕 音声言語理解において言葉のスコアから概念等のスコアを計算するための構文にスコア付ける方法。

—13:00~17:15—

(4) 質問表現の話題依存性 —質問の仕方は話題によってどう変わるか— 石川有紀子, 加藤恒昭(NTT)

〔概要〕 話題を特徴付ける要因を抽出し, それが質問表現の形態をどのように規定するかについて述べる。

(5) 複数の文に基づくネットワーク形式の構造について 佐藤嘉高, 宮永喜一, 柄内香次(北大)

〔概要〕 複数の文をもとにしてネットワーク形式の構造を構築し, 種々の問題点を解決する手がかりとする。

(6) 自己組織型ニューラルネットワークによるドキュメントの自動分類

豊浦 潤, 小船隆一, 有田英一(三菱電機)

〔概要〕 自己組織型ニューラルネットワークを用いたドキュメントの自動分類機構の提案とその実験結果。

(7) 専門用語の抽出と整理 田中康仁 (愛知淑徳大)

〔概要〕 専門用語をコーパスの中からいかに抽出するか、どのような用例を抽出するのがよいかについて述べる。

(8) サリー大学の専門用語収集システム 田中康仁 (愛知淑徳大)

〔概要〕 サリー大学で開発されている専門用語収集システムの概要について述べる。

(9) 例文からの動詞概念の獲得と評価 謝建明, 瀧口伸雄, 小谷善行 (農工大)

〔概要〕 例文とその深層構造から獲得される動詞の言語構造を用いた解析の結果について述べる。

3月13日 (金)

—10:00~12:00—

(10) イメージを用いた比喩理解モデル 崔鐘根, 小原啓義 (早大)

〔概要〕 標記モデルの構築により比喩理解を支えている知識構造や理解の結果判断の原因を明らかにする。

(11) 文章校正支援システムにおける校正知識の構築法 獅々堀正幹, 青江順一 (徳島大)

〔概要〕 日本語文章校正支援システムで利用する校正知識の分類と既存文書からの獲得手法を提案する。

(12) 知的コマンドインタフェース ICI における問合せ文の理解 美馬秀樹, 青江順一 (徳島大)

〔概要〕 情報システムと協調動作するコマンドインタフェースに対する問合せ文の曖昧性解消について提案する。

—13:00~15:00—

(13) ボトムアップチャート法に基づく並列文生成 春野雅彦, 伝 康晴, 松本裕治, 長尾 真 (京大)

〔概要〕 ボトムアップチャート法に基づく意味表記からの生成について述べ、その並列実現法を説明する。

(14) 単語接続情報を利用した機械翻訳 鈴木康広 (北海道工大)

〔概要〕 構文解析などの文法的解析の代わりに単語のつながり易さ (接続情報) を利用する機械翻訳について。

(15) Interaction between Structural Changes in Machine Translation

木下 聡 (東芝), John Phillips, 辻井潤一 (UMIST)

〔概要〕 トランスファーの過程でルールの相互作用によって発生する問題について考察する。

#### ◆ 第54回 オペレーティング・システム研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 吉澤康文, 幹事: 清水謙多郎, 園部正幸, 田胡和哉)

日時 平成4年3月13日 (金) 10:00~16:30

会場 機械振興会館 6階 67号室 (所在地は前記参照)

議題 特集: 高性能ワークステーション, 高性能化技術, 高信頼化技術, 性能評価

—10:00~12:00—

(1) ポリシーに基づく適応型 PC の実現 神原順一 (東洋大)

〔概要〕 ユーザやシステムの持つポリシーに基づき, RPC/LPC を行うシステムの研究および実装。

(2) 高並列計算機 AP 1000 のメッセージ通信機構 池坂守夫, 堀江健志, 清水俊幸, 石畑宏明 (富士通研)

〔概要〕 高並列計算機 AP 1000 の高速通信機構について, その方式と性能評価に関して報告する。

(3) ジョブ間並列同期転送機能 (PREST) の開発と評価 長須賀弘文, 新井利明, 今居和男, 吉澤康文 (日立)

〔概要〕 バッチ処理の処理時間を短縮する機能である「PREST」について実現方式と評価結果を報告する。

—13:00~16:30—

(4) ワークステーション用 Unix カーネルの高性能化の試み 手塚宏史 (ソニー)

〔概要〕 RISC ワークステーション用 Unix カーネルに対するいくつかの高性能化の試みとその評価。

(5) 線型方程式の高速化技術 中西 誠, 三上次郎 (富士通)

〔概要〕 線型方程式の性能をベクトル計算機および汎用計算機で引き出すため開発した高速化技術を報告する。

(6) 疎結合マルチプロセッサシステム (LCMP) 用 OS テスト支援システム (OSTD/MV) の方式開発

池ヶ谷直子, 吉澤康文, 梅野英典, 田中俊治 (日立)

〔概要〕 複数 OS の連動テスト方式として一台の TSS 端末から複数の OS を起動しテストする標記方式と評価。

(7) 計算機システム性能評価用シミュレータ 小松俊雄, 野瀬純郎 (NTT)

〔概要〕 図表形式で入力したモデル条件をシミュレーションプログラムに自動展開・実行する性能評価用ツール。

(8) ベンチマークによる階層化システムのプラットフォーム性能評価手法 二神 新 (NTT)

〔概要〕 通信処理用リアルタイムシステムを中心にベンチマークを用いたプラットフォームの性能評価手法検討。

◆ 第 87 回 データベース・システム研究会

(発表件数：10件)

(主査：増永良文，幹事：北川博之，田中克己，鶴岡邦敏)

日 時 平成 4 年 3 月 16 日 (月) 9:20~17:00  
会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)  
議 題

—9:20~12:00—

- (1) 管理実体型概念について 穂鷹良介 (筑波大)  
〔概要〕 実務家の間では良く知られている管理実体型概念について概念の整理を行う。
- (2) ISO IRDS の実装と機能の吟味 岩崎一正，穂鷹良介 (筑波大)  
〔概要〕 DIS 版 IRDS サービスインタフェース仕様の主要機能の検討を行い，改善案の実装を行った。
- (3) JD MF における役割の考察 玉川義人，穂鷹良介 (筑波大)  
〔概要〕 「共有される意味」を表現するための JD MF の役割概念について基準となり得る考え方を提案する。
- (4) JD MF の実現 野口 宏 (茨城大)，尾関美明，穂鷹良介 (筑波大)  
〔概要〕 新しく JD MF に導入された集合概念実現のための基本的考察を行い機能の一部を実現した。

—12:45~17:00—

- (5) 障害回復を考慮した先読みスケジューラ 木庭 淳，加藤直樹 (神戸商科大)  
〔概要〕 データベースの並行処理制御において障害回復を考慮した先読みスケジューラを提案し性能評価も示す。
- (6) 複数属性の準結合を用いる分散データベース質問処理法 李 紅 (リコー)，佐藤 洋 (電通大)  
〔概要〕 分散データベースの質問処理に複数属性の準結合を用いるアルゴリズムについて論じる。
- (7) 履歴データ型を用いたバージョン管理機構の設計と実装 田中 肇，北川博之，大保信夫，于 旭，鈴木 功 (筑波大)  
〔概要〕 バージョン導出関係と時間情報の履歴データ型による統合管理を特徴とするデータモデルとその実装。
- (8) オブジェクト指向データベースシステムにおけるスキーマのバージョン管理 植田一成，吉高淳夫，満谷美正，平川正人，市川忠男 (広島大)  
〔概要〕 クラスおよびオブジェクトを複数のスキーマバージョン上で共有し管理する手法について述べる。
- (9) マルチメディアオブジェクト指向データベースのための時間的・空間的データモデルの提案 満谷美正，植田一成，吉高淳夫，平川正人，市川忠男 (広島大)  
〔概要〕 複数のメディアオブジェクトから構成される複合オブジェクトの時間・空間記述が可能なモデルの提案。
- (10) オブジェクト指向データベースシステムによる医療画像データベースの実装 脇山俊一郎 (仙台電波高専)，金森吉成 (群馬大)，増永良文 (情報大)  
〔概要〕 多様なデータ処理をとまなう医療画像 DB の，オブジェクト指向 DB システムへの実装方法について。

◆ 第 66 回 記号処理研究会

(発表件数：6件)

(主査：竹内郁雄，幹事：相場 亮，小谷善行，多田好克)

日 時 平成 4 年 3 月 16 日 (月) 10:30~17:00  
会 場 NTT 武蔵野研究開発センター 6号館 3階 小講堂  
〔武蔵野市緑町 3-9-11, JR (中央線): 三鷹 (北口) 下車，関東バス: 電気通信研究所前行き終点，または北裏行き武蔵野市役所前下車，徒歩 5 分。Tel. 0422 (59) 3083 (竹内)  
議 題

—10:30~12:00—

- (1) TAO/SILENT の論理型プログラミング 山崎憲一，天海良治，竹内郁雄，吉田雅治 (NTT)  
〔概要〕 論理型プログラミングと Lisp とのシンタックスを重視した融合方法を提案する。
- (2) ネットワーク・ニュースからのキーワードの自動抽出 田中二郎 (慶大)  
〔概要〕 記事のフォーマットや日本語の特性を考慮しつつキーワードを抽出し，関連記事を検索する一助にする。

—13:20~17:00—

- (3) Tachyon Common Lisp の実現方式 五味 弘, 高橋順一, 新谷義弘, 伊藤丹二, 長坂 篤 (沖電気)  
〔概要〕 CLtL2 準拠の高速かつ高い移植性を持つ Tachyon Common Lisp の実現法について報告する。
- (4) Tachyon Common Lisp コンパイラの高速度化方式 新谷義弘, 伊藤丹二, 長坂 篤 (沖電気)  
〔概要〕 CLtL2 仕様準拠の Lisp 処理系 Tachyon Common Lisp のコンパイラの高速度化方式について報告する。
- (5) 陽の並列性を導入した Lisp インタプリタ NICOLISP 高橋尚子, 中西正和 (慶大)  
〔概要〕 Mach OS 上に開発した陽の並列性を導入した Lisp について報告する。
- (6) Common Lisp のプロセス間通信のための一機構 古坂孝史 (IPA), 井田昌之 (青学大)  
〔概要〕 実存する Common Lisp の3つの処理系において実験で求めたプロセス間通信の実装を示す。

## ◆ 第38回 情報システム研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 伊吹公夫, 幹事: 槻木公一, 西原良一, 初瀬川茂)

日 時 平成4年3月16日(月) 12:30~17:00

会 場 日本ユニシス 渋谷教育センター(東邦生命ビル 24階) 2406号室

〔東京都渋谷区渋谷 2-15-1, JR: 渋谷下車, 首都高速沿い東へ徒歩5分。Tel. 03 (5485) 4410〕

## 議 題 第2回 情報システム若手の会

昨年に続き、今年度最後の研究会を「若手の会」として企画しました。もちろん、参加者の年齢制限などは一切ありませんが、特に情報システムの開発、研究、教育に携わる若手の方々(大学院生、若手社員、若手教育者など)の多数のご参加をお願いします。

## ●若手による研究発表

- (1) 多階調画像と2値画像の相互変換 松岡輝彦, 湯田美知子, 小菅佳克, 千種康民, 伊吹公夫 (東京工科大)  
〔概要〕 多階調画像と2値画像の相互変換法を提案し、アンケート調査により定量的評価を試みた結果の報告。
- (2) 非接触型 IC カードによる出退勤管理システムの作成 佐々木健一, 松原 広, 篠原専二, 高沢美佐子 (鉄道総研)  
〔概要〕 鉄道の新出改札システムとして開発中の非接触型 IC カードの長期試験を兼ねた出退勤管理システム。
- (3) 音響認識による動画制御システム 川口昭良, 杉本知香, 白倉 剛, 千種康民, 伊吹公夫 (東京工科大)  
〔概要〕 認知科学的性質を活用して、実時間性と自然性を両立させる手法を適用したシステムを試作した。
- (4) グローバル需給管理システム構築事例 白田 誠 (東芝)  
〔概要〕 家電事業グローバル化に対応し、欧州の需給調整業務効率化・経営判断迅速化システムの構築事例。
- (5) システム開発のメタモデル —企業情報システムの場合— 奥 悦史, 葉木洋一, 堀内 一 (日立)  
〔概要〕 システム開発をメタモデルで記述することを狙い、企業情報システムの特質を踏まえたフレームワーク。
- (6) 地下街案内のための画像データベースシステムの試作 渡辺凡夫 (滋賀大), 長井秀樹 (トライデント)  
〔概要〕 視覚情報を利用し、地下街案内を例に、コンパクトな画像データベースシステムをパソコン上に試作。

## ●基調講演

- (7) 情報システムに関する研究の現状と動向 —第12回情報システム国際会議 (12th ICIS) 報告— 松谷泰行 (多摩大)

## ●自由討論

## ◆ 第40回 数値解析研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 浜田穂積, 幹事: 関口智嗣, 土谷 隆, 吉原郁夫)

日 時 平成4年3月21日(土) 10:00~15:30

会 場 統計数理研究所 本館3階 セミナー室

〔東京都港区南麻布 4-6-7, 地下鉄(日比谷線): 広尾下車, 徒歩6分。Tel. 03 (3446) 1501〕

## 議 題

—10:00~12:00—

- (1) FFT による多倍長数乗算法の誤差 平山 弘 (神奈川工科大)  
〔概要〕 浮動小数点の FFT を使った多倍長数乗算法の効果と誤差について述べる。
- (2) 曲線座標系における超平面法の有効利用方法について 藤野清次 (計算流体力学研究所), 竹内敏己 (花王)

〔概要〕 ベクトル計算機上で超平面法を BiCGSTAB 法などのベクトル化に使う際の有効利用方法について。

—13:30~15:30—

(3) Cahn-Hilliard 方程式の差分法による数値的解法 降旗大介, 恩田智彦, 森 正武 (東大)

〔概要〕 混入誤差に対する差分公式の新しい安定性を導入して標記方程式が差分法で解けることを示す。

(4) フィボナッチ多項式によって発生される差異の小さい点列を用いる多次元数値積分法

伏見正則 (東大), 手塚 集 (IBM)

〔概要〕 表題の数値積分法について論ずる。

◆ 第26回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 西関隆夫, 幹事: 浅野孝夫, 岡本栄司, 安浦寛人)

日 時 平成4年3月23日(月) 9:00~14:20

会 場 津田塾大学 別館 1階 2102

〔東京都小平市津田町 2-1-1, 西武国分寺線 (JR 国分寺—西武新宿線東村山間): 鷹の台下車, 徒歩10分. Tel. 0423 (42) 5160 (数学科事務室)〕

議 題

—9:00~11:55—

(1) Effective Steiner Tree Heuristics for Graphs with Restricted Weights

M. M. Halldorsson (東工大)

〔概要〕 各辺の重みが区間  $[\alpha, \beta]$  ( $\beta/\alpha \leq 2$ ) 内にあるグラフの最小重みスタイナー木を求める発見的手法。

(2) 重み付き領域を考慮した最短経路問題

安留誠吾, 増澤利光, 辻野嘉宏, 都倉信樹 (阪大)

〔概要〕 重み付き  $L_1$  距離と屈折数の両方を考慮した評価尺度による最短経路を求める方法。

(3) 最小カット問題の新しい確率的アルゴリズム: 計算実験による性能評価

大塚啓司, 戴 陽, 加藤直樹 (神戸商大), 岩野和生 (日本IBM)

〔概要〕 最小カット問題の新しい確率的アルゴリズムの提案と計算実験による性能評価。

(4) Efficient Enumeration of Grid Points in a Polygon and Its Application to Integer Programming

金丸直義, 西関隆夫 (東北大), 浅野哲夫 (大阪電通大)

〔概要〕 凸多角形内部の格子点を列挙する問題と2変数整数計画問題に対する効率的アルゴリズム。

(5) The "Open Edge" Variant of the Polygon Search Problem

D. Crass, I. Suzuki (U. Wisconsin-Milwaukee), 山下雅史 (広島大)

〔概要〕 We consider a problem of searching for a mobile intruder in a simple polygon.

—13:10~14:20—

(6) 木構造図式の描画問題

海野 浩, 安齋公士, 小倉耕一, 夜久竹夫 (関東学園大)

〔概要〕 従来の美的条件を満たす配置を与える  $O(n^3)$  のアルゴリズム。

(7) Sufficient Numbers of Rounds for Disseminating Information in the Faulty Binary Jumping Networks

Y. Han (U. Kentucky), Y. Igarashi, K. Kanai, K. Miura (群馬大)

〔概要〕  $\lceil \log_2 N \rceil + f + 2$  rounds are sufficient when  $f \leq \lceil \log_2 N \rceil - 2$  faults in the  $N$ -processor network.

◆ 第85回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 14件)

(主査: 富田眞治, 幹事: 後藤厚宏, 村上和彰, 横田 実)

日 時 平成4年3月23日(月) 10:00~18:35

会 場 機械振興会館 6階 67号室 (所在地は前記参照)

議 題 特集: 実時間処理に関するワークショップ (RTP '92) および一般

—10:00~11:50—

● 招待講演: 実時間システムの研究動向

(1) 欧米における実時間システムの研究動向

阿江 忠 (広島大)

(2) CMUにおける分散リアルタイム OS の研究動向

徳田英幸 (慶大/CMU), 石川 裕 (電総研)

(3) リスポンシブシステムと通信プロトコル

角田良明, 菊野 亨 (阪大)

(4) REAL-TIME SYSTEMS SYMPOSIUM (IEEE) に参加して

竹垣盛一 (三菱電機)



—13:00~14:30—

## ●一般発表：言語

- (5) 実時間処理記述言語：RTC++ 石川 裕（電総研），徳田英幸（慶大/CMU）  
 (6) 分散型リアルタイムシステム記述言語 RtOL 高汐一紀（慶大），所真理雄（慶大/ソニー）  
 (7) 実時間応用のための Lisp による GC フリープログラミング 杉村利明，岸田克己，日比野靖（NTT）

—14:45~15:45—

## ●一般発表：OS

- (8) When Object-Oriented Operating System is Time Critical 白川洋充，大久保英嗣（立命館大）  
 (9) リアクションにもとづくリアルタイム AI のための OS 鈴木達郎，杉村利明，菅原昌平，日比野靖（NTT）

—15:55~16:55—

## ●一般発表：並列処理手法，ハードウェア

- (10) 連続・離散時間制御システム・リアルタイムシミュレーションの並列処理 鳥居宏行，田村光雄，前川仁孝，笠原博徳（早大）  
 (11) 実時間用並列計算機 CODA のハードウェアアーキテクチャ 西田健次，戸田賢二，島田俊夫（電総研）

—17:05~18:35—

## ●一般発表：理論やその適用

- (12) 述語のリアルタイム収束性に基づくリスポンスプロトコルの検証法 川島健一，角田良明，菊野 亨（阪大）  
 (13) 分散制御システムへの非周期タスクサーバの適用性 藤田昌也，竹垣盛一（三菱電機）  
 (14) 協調分散スケジューリング方式のリアルタイム保証性 神余浩夫，藤田昌也，竹垣盛一（三菱電機）

\*今回の研究会は電子情報通信学会（コンピュータシステム研究会）との共催で開催されます。なお，研究会終了後，簡単な懇親会を予定しています。

## ◆第77回 コンピュータビジョン研究会

（発表件数：9件）

（主査：谷内田正彦，幹事：富田文明，尺長 健）

日 時 平成4年3月27日（金）10:00~17:00  
 会 場 機械振興会館 6階 65号室（所在地は前記参照）  
 議 題

—10:00~12:00—

- (1) 幾何学的計算の統計解析：I. 基礎理論 浦澤康二，金谷健一（群馬大）  
 (2) コニックあてはめの統計的偏差と不偏推定法 岩崎利夫，金谷健一（群馬大）  
 (3) 3次元運動の不偏推定法と統計的誤差解析 森尻智明，金谷健一（群馬大）

—13:15~17:00—

- (4) 線分による単眼視姿勢推定の位相的可解性と計量的可解性 尺長 健（NTT）  
 (5) マルチプロセッサシステムを用いた複数物体の運動検出 中井宏章，福井和広，久野義徳（東芝）  
 (6) 人間行動パターン理解のための人体運動追跡 郭 颯，徐 剛，辻 三郎（阪大）  
 (7) ファンオペレータの出力に基づく Minimal Surface の抽出 瀬川英吾，徐 剛，辻 三郎（阪大）  
 (8) HSV カラーモデルによるカラー航空写真の領域分割 八木大亮，阿部圭一，中谷広正（静岡大）  
 (9) 画像処理関連文献データベースの第5次収集と配布 情報処理学会コンピュータビジョン研究会

## ◆ソフトウェア工学研究会

第85回 研究会の発表を下記のとおり募集いたします。

日 程 平成4年5月21日（木）  
 会 場 日本電気 本社ビル（東京，田町）  
 発表申込締切 平成4年2月28日（金）

◆ グラフィクスと CAD 研究会

「グラフィクスと CAD 文献データベース：1990」の配布のお知らせ

本研究会では1988年より、グラフィクスとCADに関連する文献のデータベース化を行っています。今回1990年に国内外で発行された約60種の学会誌、論文誌等から、グラフィクスとCADに関する文献情報約1000件を収録した『グラフィクスとCAD文献データベース：1990』ができましたので、会員の皆さまに配布いたします。

申込み要領：(平成4年3月31日(火)締切先着100名限り)

『文献DB配布希望』送付先の住所、氏名、電話番号、FAX番号と申込者の会員番号を明記し、

実費1000円を同封のうえ、現金書留で下記までお申し込みください。

\*配布はMS-DOSのフロッピディスク(5インチ2HD(1.2MB))で行います。

申込み先：153 目黒区駒場3-8-1 東京大学 教養学部 情報・図形科学教室 鈴木宏正

Tel. 03 (3467) 1171 内 226 FAX 03 (3465) 2896

◆第2回テクニカルコミュニケーション研究グループ研究会

(発表件数：3件)

(主査：山田尚勇，幹事：牛島和夫，空閑茂紀，福島敏高)

日時 平成4年3月6日(金) 13:30~17:00

会場 森ビル 新橋アネックス 地下2階 第6会議室

(東京都港区新橋5-35-10(日比谷通り，横浜ゴムビル東隣)，地下鉄(三田線)：御成門下車，徒歩3分，またはJR：新橋下車，徒歩12分。Tel. 03 (5473) 2924)

議題

- (1) 診断機能を備えた校正支援システム 勘座浩幸(シャープ)
- (2) 機械翻訳について 一利用者側より 樋浦克彦(十印)
- (3) 説明文のわかりやすさを向上させるために 一口頭説明による効果の検討一 綿井雅康(文教大)

参加費 1,000円

問合せ先 福島，杉田(富士通) Tel. 03 (3216) 9725 FAX 03 (3215) 5987

◆仕様の効率的適用と評価研究グループ

下記のとおり、研究会を開催いたします。多数の皆さまのご参加をお願いいたします。

日時 平成4年4月20日(月) 13:00~17:45

会場 軽井沢プリンスホテル

議題 テーマ：“ネット指向ソフトウェア設計技術”チュートリアル

- (1) 基調講演：ネット指向ソフトウェアの概念 翁長健治(広島大)，熊谷貞俊(阪大)
- (2) ソフトウェア・プロセスにおけるネット理論 佐伯元司(東工大)
- (3) 分散システム設計におけるネット理論 青山幹雄(富士通)
- (4) 通信プロトコル設計におけるネット理論 大蒔和仁(電総研)
- (5) リアルタイムシステム設計におけるネット理論 伊藤 潔(上智大)

参加費 無料(資料代：実費)

問合せ先 210 川崎市幸区柳町70 東芝 システム・ソフトウェア技術研究所 本位田真一

Tel. 044 (548) 5474 FAX 044 (533) 3593 e-mail: honiden@ssel.toshiba.co.jp

\*今回の研究会は、電子情報通信学会(ソフトウェア離散構造研究会)、計測自動制御学会(離散事象システム研究会)、情報処理学会(ソフトウェア工学研究会)との協賛で行われます。なお、プログラムに関する詳細は電子情報通信学会誌(2月号)をご参照ください。

## 平成4年度研究会のお知らせ

平成4年度は、下記のとおり20研究会で行います。

- 年間をとおして参加の場合は登録・準登録をお願いします。
- 登録されていない会員は研究会当日資料代をいただきます。

研究会名	主査	幹事	取り扱う研究分野の例
1 自然言語処理	• 野村 浩郷	徳永 健伸 永井 秀利 林 良彦	言語理論, 言語行動, 言語資料・統計, 辞書, 形態素解析, 統語解析, 意味解析, 文脈解析, 対話, 談話理解, 音声言語, 知識表現, 機械翻訳, 情報検索, 自然言語処理ソフトウェア
2 データベースシステム	• 増永 良文	北川 博之 田中 克己 鶴岡 邦敏	データモデル, DB設計, DBPL, 情報資源管理, 質問処理, トランザクション管理, DBMSアーキテクチャ, 分散型DB, 演繹DB, オブジェクト指向DB, ユーザインタフェース, マルチメディアDB, オフィスDB, エンジニアリングDB, DB高度応用
3 人工知能	• 石塚 満	沼尾 正行 松原 仁 吉田 裕之	知識表現, 推論・探索, 学習, 認知モデル, ニュラルネット, 知識ベース, エキスパートシステム, ファジー理論, パターン・自然言語の理解, 知的インタフェース, 分散・協調AI, AIアーキテクチャ, その他の知能メカニズム関連研究と応用システム
4 記号処理	• 竹内 郁雄	天海 良治 多田 好克 湯浦 克彦	リストなどの記号処理のアーキテクチャ, 計算モデル言語, 処理系, ゴミ集め, プログラミング技法, ツール, 応用
5 ソフトウェア工学	• 原田 賢一	宇都宮 公訓 大槻 繁 大蒔 和仁	要求分析, プログラム設計方法, 仕様記述, プログラム図式, プログラミング方法論, 検査・検証, ソフトウェアツール, 開発支援環境, 再利用技術, プログラム合成管理, メトリックス, 人的要因
6 * 計算機アーキテクチャ	• 富田 眞治	後藤 厚宏 村上 和彰 矢野 陽一	計算機システム・アーキテクチャ全般, ソフトウェア・システム(OS, コンパイラ, ツール)とのインタフェース, 並列処理アーキテクチャ, VLSIアーキテクチャ
7 オペレーティング・システム	• 鈴木 則久	清水 康 清水謙多郎 萩野 達也	1. OSの基礎 2. クライアント, サーバー, オブジェクト指向OS 3. 並列・分散処理OS 4. 計算機システムの性能評価・解析ならびに信頼性 5. OSの人間工学的設計論 6. データベースOS, マルチメディアOS, 実時間OS, 通信システムOS
8 コンピュータビジョン	• 杉原 厚吉	井宮 淳 尺長 健 長谷川純一	視覚情報処理: 画像処理, 画像理解, 物体認識, 3次元復元, ステレオ視, モーション, ロボットビジョン 視覚モデル, 画像データベース, 画像プロセッサなど
9 設計自動化	• 上田 和宏	川戸 信明 河村 匡彦 佐藤 政生	L S I, プリント基板, 論理装置の設計自動化に関連した分野: ハードウェア設計言語, 論理合成, シミュレーション, 設計検証, テスト容易化設計, テスト, 診断, レイアウト自動設計, 設計エキスパートシステム, CADエンジン等

\*「マイクロコンピュータとワークステーション」と「計算機アーキテクチャ」の統合

研究会名	主査	幹事	取り扱う研究分野の例
10 マルチメディア通信と分散処理	•河岡 司	滝沢 誠 寺中 勝美 水野 忠則	マルチメディアによる高度情報通信ネットワークおよび分散処理システム (LAN, 広域網, 分散コンピューティング, ネットワーク管理, グループウェア, 知的通信等)
11 ヒューマンインタフェース	•安西祐一郎	井関 治 小川 克彦 廣瀬 通孝	1. 計算機システムのヒューマンインタフェース 2. 認知情報処理のモデル 3. 協調作業のインタフェース 4. マルチメディアインタフェース 5. インタフェースとコミュニケーション 6. 人工現実感 7. 文書処理方式とオフィスオートメーション
12 グラフィクスとCAD	•西原 清一	宇野 栄 大野 義夫 間瀬 健二	CGのソフトウェア・アルゴリズム・ハードウェア・EWS・インタフェース, 形状モデリング, アニメとアート, コシバ, 人工現実感, CAD/CAM, デザイン, 幾何学, 画像生成, 図面処理
13 数値解析	•福井 義成	土谷 隆 長島 雲兵 吉原 郁夫	1. 数値計算と数値解析 2. スーパーコンピュータによる超大型計算 3. 数学ソフトウェアの開発 4. 数式処理との結合 5. 計算機や言語への提案
14 情報システム	•上野 滋	高橋 富夫 榎木 公一 初瀬川 茂	情報システム(OIS, MIS, 情報サービスなど)の分析, 設計, 構築, 利用, 情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際, 情報システムと人間・組織社会
15 プログラミング 一言語・基礎・実践	•安村 通晃	久世 和資 萩谷 昌己 松岡 聡	1. 計算のモデルとプログラミングの基本概念 2. プログラミング言語とその設計 3. プログラミング言語の実現 4. プログラミング工程と支援環境 5. プログラミングのための新しい概念, 方法, パラダイム
16 情報学基礎	•細野 公男	石塚 英弘 中川 優 尹 博道	1. 情報の表現, 識別, 分類, 評価, 流通, 管理の手法 2. 学習と発見による大量情報の知識化, 遺伝子情報 3. 大量のマルチメディア情報, 文字情報の処理など
17 コンピュータと教育	•一松 信	牧野 勝 三好 和憲 矢野 米雄	1. 学校および企業における情報分野の専門技術者・研究者の育成, ならびにリテラシーとしての一般的情報処理教育のためのカリキュラム, 具体的指導方法, 実践例等 2. 知的CAIを含む教育における計算機応用
18 アルゴリズム	•五十嵐善英	浅野 哲夫 白石 洋一 平田 富夫	1. グラフ, ネットワーク, VLSIなどに関する離散アルゴリズム 2. 計算幾何学と計算代数学 3. 暗号, 符号などの数論的アルゴリズム 4. 確率アルゴリズム, 近似アルゴリズム 5. 並列, 分散アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム 6. データ構造 7. 計算の複雑さの理論
19 人文科学とコンピュータ	•杉田 繁治	及川 昭文 小沢 一雅 洪 政国	1. 人文科学, 博物館・美術館への情報処理, コンピュータの応用要素と実現技術 2. 人文科学系ユーザにとって柔軟なユーザ・インタフェースの実現要素と技術 3. 情報処理と人文科学系間での学際的協力 4. コンピュータ, 情報処理の社会的側面
20 情報メディア	•相磯 秀夫	石塚 英男 上林 憲行 田中 讓 中川 透	情報メディアの科学と工学: 1. 情報の生態系 2. メディアの電子化, 映像化, メディア機械 (仮想現実等) 3. メディアの創作, 編集, 表現, 伝達, 管理, 理解のメタファと環境

## 平成4年度より

- 研究会登録費の見直しを毎年実施します。
- 研究発表会当日の資料代は資料ページ数により4段階(1000円, 1500円, 2000円, 2500円)に改定しました。
- 学際的な研究会へは境界領域の方の研究会登録手続きとして, 「研究会準登録者」制度をもうけました。

なお, 詳細等につきましては事務局研究会担当までお問合せください。

## 計算機アーキテクチャ研究会・マイクロコンピュータと ワークステーション研究会統合のお知らせ

平成4年度より以下のとおり「計算機アーキテクチャ研究会（略称：ARC）」と「マイクロコンピュータとワークステーション研究会（略称：MIC）」とを統合して1つの研究会といたします。名称は「計算機アーキテクチャ研究会（略称：ARC）」をそのまま継承いたします。

### ●統合の目的

もともと両研究会は「電子計算機アーキテクチャ・マイクロコンピュータ研究会」を前身とし、昭和52（1977）年に分離独立したものです。その背景には、1970年代前半に登場したマイクロコンピュータへの大きな技術的・学術的期待がありました。そして、ご承知のとおり、マイクロコンピュータはその期待に違わず飛躍的な進歩を遂げてまいりました。それにともない、昭和52年当時『コンピュータの一種』であったマイクロコンピュータの位置付けも、現在では『コンピュータそのもの』へと大きく変化を遂げました。

このような背景により、現在両研究会の担当分野には少なからぬ重複が見られるに至っております。そこで、両研究会を再統合することによって、研究者への利便を向上させると同時に、当該分野における研究会活動をより強固なものとするにいたしました。

### ●研究会役員

主 査：富田眞治（京大）

幹 事：後藤厚宏（NTT）、村上和彰（九大）、矢野陽一（日電）

### ●主要な研究分野

#### 1. 計算機システムのアーキテクチャ全般

（ハードウェア構成・設計・制御技術、ファームウェア技術、インタフェース技術、開発支援環境、評価・検証技術など）

#### 2. ソフトウェア・システムとのインタフェース

（OS、コンパイラ、アプリケーション、ツールなど）

#### 3. VLSI アーキテクチャ

#### 4. 並列処理アーキテクチャ

#### 5. 各種専用計算機アーキテクチャ

## グラフィクスと CAD 研究会設立 10 周年記念

### 「CG 作品集」ができました

グラフィクスと CAD 研究会は設立 10 周年を記念して「CG 作品集」を発刊しました。これは日本人の制作による CG 画像を公募し、100 余点を収録したものです。作品はカラー印刷で、同研究会の 10 年の足跡を記した資料集付きで 1 冊 5,000 円で頒布中です。なお、グラフィクスと CAD シンポジウム 論文集（平成 3 年 11 月 20～21 日開催）とセットで 10,000 円でも申し受けます。

問合せ先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F

（社）情報処理学会 図書係

Tel: 03 (3505) 0505 FAX: 03 (3584) 7925

連絡先 102 千代田区三番町 5-19

日本アイ・ビー・エム(株)

東京基礎研究所 宇野 栄

Tel. 03 (3288) 8305 FAX 03 (3265) 4370

◆ 研究発表会開催予定 (1992年4月~1993年3月)

(平成4年1月10日現在)

(研究会名)	(開催日・会場他)
自然言語処理	5月14日(木)・15日(金) 九工大 7月17日(金) 東工大 9月18日(金) 横浜国大 11月19日(木)・20日(金) 京大会館 1月13日(水)・14日(木) 北海学園大 3月19日(金) 国立国語研
データベースシステム	5月8日(金) 筑波大 ※Electronic Data Interchange とデータベース * 7月22日(水)~24日(金) 札幌ガーデンパレス 9月11日(金) 日電(本社) ※テキスト・ハイパメディア DB とその周辺 11月6日(金) 阪大または神戸大 ※OODB と次世代データモデル 3月 機
人工知能	5月26日(火) 機・B3-1 7月8日(水)~10日(金) 金沢 ワークショップ(合宿形式)~ 9月10日(木) 東芝(本社) * 11月19日(木)・20日(金) 琉球大 1月 ATR または NTT(奈良) 3月 機 ※(特集予定あり)
記号処理	6月12日(金) 慶大(藤沢) 9月18日(金) 九工大 1月22日(金) 日電(本社) 3月19日(金) NTT(武蔵野)
ソフトウェア工学	5月21日(木) 日電(本社) 7月中旬 地方 * 9月29日(火) 東京 * 11月10日(火) 東京 * 12月3日(水)・4日(金) 電総研 ※仕様記述 2月初旬 金沢 3月2日(火) 機
* 計算機アーキテクチャ (計算機アーキテクチャ研究会と マイクロコンピュータとワーク ステーション研究会の統合)	5月中旬 富士通(川崎) 8月19日(水)~21日(金) の1日間 宮崎シーサイドホテル —SWoPP '92— * 10月22日(木)・23日(金) 九大 ※VLSI コンピュータ 11月下旬 地方 * 1月下旬 関西 ※機能論理設計とアーキテクチャ * 3月下旬 北海道 ※実時間処理
オペレーティング・システム	5月29日(金) 機・6F65 8月19日(水)~21日(金) の1日間 宮崎シーサイドホテル —SWoPP '92— 12月4日(金) 機・6F65 3月19日(金) 機
コンピュータビジョン	5月15日(金) 名工大 9月17日(木) 山梨大 * 11月19日(木)・20日(金) 京大 1月21日(木) 広島大 3月17日(木) 機
設計自動化	* 5月28日(木)・29日(金) 長崎 ※レイアウトおよび一般 * 7月16日(木)・17日(金) 機・B3-2 ※記述言語, 機能論理設計および一般 * 10月22日(木)・23日(金) 東北大 ※設計とテストおよび一般 * 1月21日(木)・22日(金) 関西 ※アーキテクチャ設計支援, ハイレベル合成および一般 3月12日(金) 機 ※フレームワークおよび一般
マルチメディア通信と分散処理	5月15日(金) 機・B3-1 ※マルチメディア通信とヒューマンインタフェース 7月10日(金) いわき明星大 * 9月24日(木)・25日(金) 機・B3-研1 ※通信とAI 11月19日(木)・20日(金) 琉球大

ヒューマンインタフェース	* 5月11日(月)・12日(火) 東大山上会館 ※人工現実感 7月9日(木) 機・B3-2 * 9月10日(木)・11日(金) 北大 ※福祉 11月12日(木)・13日(金) 関西 ※(特集予定あり) 1月14日(木) 機 3月1日(月)・2日(火) 北大
グラフィクスとCAD	5月22日(金) 慶大 7月24日(金) 機・6F67 8月10日(月)・11日(火) 浜名荘(浜松) ※美術とデザイン(予定) 10月23日(金) 東京電機大 *12月17日(木)・18日(金) 山口大 2月26日(金) リコー(東京)
数値解析	6月5日(金) 電通大 8月19日(水)~21日(金)の1日間 宮崎シーサイドホテル —SWoPP '92— 10月15日(木) 徳島大 12月4日(金) 機・B3-1 3月 統数研
情報システム	5月19日(火) 機・B3-1 7月21日(火) 機・B3-2 10月20日(火) 機・B3-2 1月19日(火) 機 3月16日(火) 東京
プログラミング —言語・基礎・実践—	5月29日(金) 岡山大 8月19日(水)~21日(金)の1日間 宮崎シーサイドホテル —SWoPP '92— 10月30日(金) 機・6F66 1月 北陸先端大(金沢) * 3月10日(木)・11日(金) 機
情報学基礎	5月12日(火) 機・B3-9 7月14日(火) 機・B3-2 9月8日(火) 機・B3-2 11月10日(火) 機・B3-1
コンピュータと教育	5月22日(金) 機・B3-9 7月17日(金) 東北大 9月25日(金) 徳島大 11月20日(金) 機・B3-1 1月22日(金) 機
アルゴリズム	5月21日(木) 慶大 7月17日(金) 北海道教育大 9月25日(金) 福井大 *11月20日(金) 広島大 1月25日(月) 東芝 3月23日(火) 九大
人文科学とコンピュータ	6月5日(金) 京大 9月11日(金) 国立教育研 11月27日(金) 中京大 3月5日(金) 鳴門教育大
情報メディア	5月15日(金) 東京工科大 7月10日(金) 筑波大 11月12日(木)・13日(金) 関西 1月14日(木) 東京 3月12日(金) 東京

注) 機: 機械振興会館, \*: 他学会と共催, ※: 特集・テーマ

SWoPP '92: 1992年並列/分散/協調処理に関する『日向灘』サマー・ワークショップ

◎ 各研究会に発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書(本欄末添付)を事務局研究会係までご送付ください。

# 研究発表申込書

\_\_\_\_\_ 研究会 (申込 年 月 日)

• 発表希望開催日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( )

• タ イ ト ル \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

• 氏名, 略称所属  
(発表者に○印右肩) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

• 概 要 (46文字以内) (なるべくタイトルの重複記入は避け, 補足事項等をご記入ください)


• 原稿詳細送付先

〒 _____
_____
_____
_____
_____
_____

• 連絡先

住所 〒 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

☎ \_\_\_\_\_ ( )

\_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

(会員 No. \_\_\_\_\_)

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日受付 AM・PM 送付 主査・幹事 ( )  
担当 \_\_\_\_\_



個人会員専用

年 月 日

平成4年度研究会登録申込用紙

新規専用

会員No. \_\_\_\_\_ 会員氏名 \_\_\_\_\_

登録希望の研究会の申込欄に○印をしてください。

申込み (コード)	研究会名	登録費	申込み (コード)	研究会名	登録費
NL-AA	自然言語処理	4,500	HI-MM	ヒューマンインタフェース	3,500
DBS-BB	データベースシステム	5,000	CG-NN	グラフィクスとCAD	4,000
AI-CC	人工知能	3,500	NA-OO	数値解析	3,500
SYM-DD	記号処理	3,500	IS-QQ	情報システム	4,000
SE-EE	ソフトウェア工学	4,000	PRG-RP	プログラミング -言語・基礎・実践-	4,500
ARC-GG (統合)	計算機アーキテクチャ	4,000			
OS-HH	オペレーティング・システム	3,000	FI-SS	情報学基礎	3,500
CV-JJ	コンピュータビジョン	4,000	CE-TT	コンピュータと教育	4,500
DA-KK	設計自動化	5,000	AL-UU	アルゴリズム	4,500
DPS-LL	マルチメディア通信と 分散処理	4,500	CH-VV	人文科学とコンピュータ	4,000
			IM-WW	情報メディア	3,500

登録申込み \_\_\_\_\_ 件 合計金額 \_\_\_\_\_ 円 請求書 要 ( \_\_\_\_\_ 部) ・ 不要

※ 登録上の注意

- ・ 研究報告送付先は学会誌送付先と同様となります。(住所変更は書面にて会員係までご連絡下さい。)
- ・ 登録費の払込は登録手続終了後、別途発送いたします登録費専用振替用紙にてご送金願います。

・ 連絡先

勤務先・所属名 : \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ 内 ( \_\_\_\_\_ )

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3階 (社) 情報処理学会 研究会係  
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

## 情報処理学会 第44回 全国大会（平成4年前期）参加について

- 開催期日** 平成4年3月17日（火）～20日（金）  
**会場** 明治大学理工学部（川崎市多摩区東三田）  
**プログラム** 詳細は本号黄色のページに掲載してあります。交通、会場などはプログラムの会場案内図を参照してください。

### 一般参加の方へ

1. **総受付** 中央校舎3階エレベータホール
2. **参加費** 会員 1,000円（賛助会員は1口1名として正会員に準じます。）  
非会員 2,000円（ただし電気、電子情報通信、照明、テレビジョンの各学会会員は会員扱いとします。会員番号を申し出てください。）  
学生 無料
3. **論文集** 定価6,000円（予約は締切りました。）  
（当日お頒げできるのは、残部のある場合に限りです。）

◎参加される方は、受付にて参加費を納め、参加章を受けとってください。参加章のない方は会場に入れません。

### 一般講演を行う方へ

1. 講演者は、講演の始まる前に、必ず各セッション会場前の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
2. 講演者は、前の講演者の講演時間中に、座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて、15分を原則とします（都合により13分のセッションもあります）。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。

### 奨励賞の表彰

18日（水）午後第43回全国大会奨励賞受賞者の表彰をA会場で行います。

（その他の一般注意）

1. 食堂、休憩室などはプログラムの会場案内図等を参照のこと。
2. 電話の呼び出しはいたしません。（万一止むを得ない場合のみ、伝言板に掲示：Tel. 044 (922) 0812）。
3. 駐車場がないので、自家用車による参加はできません。

## 第44回 全国大会「チュートリアル・セッション」開催について

本会では、全国大会の前日にチュートリアル・セッションを開催することにしております。多数の会員が一堂に会する機会にチュートリアル・セッションを開催し、会員の方々の関心のあるテーマを取りあげ、理解を深めたいと考え、この分野の第一線で活躍の専門家により、最新の技術、さらには将来展望をも含めたチュートリアル・セッションを考えております。

つきましては、標記チュートリアル・セッションを下記により企画いたしました。この機会に奮ってご参加されるようお勧めいたします。

**日時** 平成4年3月17日(火) 10:00~17:00  
**場所** 明治大学理工学部(川崎市多摩区東三田)  
**参加費** 会員 10,000円 非会員 15,000円 学生 1,500円  
 (どのセッションも聴講できます。)  
 (資料のみ4,000円, 送料込)  
**申込締切** 平成4年2月28日(金)

### ~~~~プログラム(予定)~~~~

#### T1: 機械学習入門

10:00~10:10	あいさつ.....	石塚 満(東大)
10:10~11:10	1. 機械学習とは.....	沼尾 正行(東工大)
11:10~11:20	[休憩]	
11:20~12:20	2. 説明に基づく学習.....	山田 誠二(阪大)
12:20~13:20	[昼休み]	
13:20~14:20	3. 帰納学習の理論.....	榊原 康文(富士通研)
14:20~14:30	[休憩]	
14:30~15:30	4. 自然言語処理への応用—CBR, MBR との関係.....	佐藤 理史(京大)
15:30~15:40	[休憩]	
15:40~16:40	5. ソフトウェア開発への応用.....	高田 裕志(富士通研)

#### T2: オブジェクト指向データベースシステム

10:00~10:10	あいさつ.....	増永 良文(情報大)
10:10~12:00	1. なぜオブジェクト指向データベースか.....	増永 良文(情報大)
12:00~13:00	[昼休み]	
13:00~14:50	2. オブジェクト指向データベースシステムを用いた アプリケーション開発.....	深谷夕起子(東洋情報システム)
14:50~15:00	[休憩]	
15:00~16:50	3. オブジェクト指向によるシステム分析 —CASEの適用—.....	中谷多哉子(富士ゼロックス情報システム)

第44回 全国大会「チュートリアル・セッション」  
参加申込書

平成4年 月 日

標記チュートリアル・セッションの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員，賛助会員 10,000円 非会員 15,000円 学生（含大学院生）1,500円

\*参加費には，資料代が含まれています。

○テキストのみ（4,000円，送料込） \_\_\_\_\_冊

○申込先 情報処理学会 チュートリアル係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル3F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

○送金方法

\* \_\_\_\_\_円を a) 当日，会場受付にて支払います。  
b) \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

\*（bを選択した方のみご記入ください）

b-1) 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
（社）情報処理学会 チュートリアル係）

b-2) 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京  
営業部 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 \_\_\_\_\_銀行宛

・送金取扱銀行名 \_\_\_\_\_銀行 \_\_\_\_\_支店より

・送金人名義 \_\_\_\_\_様

\*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

.....  
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_

所属名 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX. \_\_\_\_\_

## 「JCRN セミナー」開催について

本委員会では、ネットワークを学会の学術活動に役立てるため、下記要領でセミナーを開催することになりました。多数の方々のご参加をお願いいたします。

**テ ー マ** 学術研究とネットワーク  
**日 時** 1992年3月10日(火)  
**場 所** 工学院大学(新宿校舎)3階小講堂(0312)(新宿区西新宿1-24-2)  
**主 催** 研究ネットワーク連合委員会(JCRN)  
**後 援** JAIN, TISN, WIDE 他

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

**午 前**  
 10:00~ 学術研究ネットワーク……………野口 正一  
 ネットワークの活用事例  
 1) ヒトゲノムプロジェクト……………荻原  
 2) 統計データの電子ジャーナル……………丸山 直昌  
 3) 会議とネットワーク環境……………未定(WIDE)  
 4) ネットワークを用いた並列処理の研究……………未定(富士通)

**午 後**  
 13:30~ 学会活動とネットワーク(精密工学会, 日本化学会等)……………未定  
 15:10~ ネットワークへのいばらの道  
 福井大学の事例……………岩原 正吉  
 東京都立大学の事例……………桜井 貴文  
 InetClub と国際電子メール……………小西 和憲  
 JCRN の活動  
 国内編……………平原 正樹  
 国際編……………村井 純

**参加費** (資料代等) 3,000円(当日受付)  
**参加申込** 下の参加申込書式を用いてハガキ, FAX, 電子メールのうちいずれかの方法で2月末日までに申し込んでください。申込多数の場合にはお断りの通知を差し上げる場合があります。

**は が き** 113 東京都文京区弥生 2-11-16 東京大学大型計算機センター  
 石田晴久教授気付け JCRN セミナー係

**F A X** 03 (3814) 7279

**メ ー ル** jcrn-seminar@nic.ad.jp

……参加申込書式……

3月10日 JCRN セミナーの参加を申し込みます。

氏 名:

所 属:

住 所:

電 話:

F A X:

e-mail:

……参加申込書式ここまで……

## 「ソフトウェア再利用技術シンポジウム」論文募集

ソフトウェアの生産性・品質を高めるための方策の一つとしてソフトウェア再利用技術があります。この技術は、コード部品の再利用から始まりましたが、しだいにその範囲が拡大し、今では、設計やプロセスの再利用までが議論されるに至っております。また、最近では、オブジェクト指向技術によって、ソフトウェア再利用に新たな展開が期待されています。一方、このような技術的側面よりも、管理的側面の方がソフトウェア再利用の成否を強く支配することが指摘されるなど、ソフトウェア再利用が十分な効果を発揮するまでには、乗り越えなければならない課題がまだ多く残されています。

ソフトウェア工学研究会では、ソフトウェア再利用技術のこのような現状を踏まえ、標記のシンポジウムの開催を計画いたしました。このシンポジウムでは、ソフトウェア再利用技術についての現状と技術動向のサーベイ、事例発表、新しい方法論の提案、支援ツールなどをおして、現状の技術レベルを認識するとともに、今後の課題やその将来像についての討論を行うことを予定しています。

**日 時** 平成4月6月30日(火)～7月1日(水)

**場 所** 機械振興会館大ホール

**トピックス** (主要なテーマは以下のとおりですが、必ずしもこれらに限りません)

- ・ソフトウェア再利用の方法論、支援ツール、環境
- ・オブジェクト指向とソフトウェア再利用
- ・ソフトウェア再利用のケーススタディ
- ・ソフトウェア再利用の管理的側面
- ・ソフトウェア再利用による自動合成と自動生成
- ・ソフトウェアプロセスの再利用
- ・CASE リポジトリとソフトウェア再利用
- ・リバースエンジニアリングとソフトウェア再利用
- ・ドメイン分析の方法論とその手法

### 論文応募要領

1. 論文発表ご希望の方は、アブストラクト(A4判用紙2枚)を平成4年3月23日(月)までにご提出ください。
2. 採否は平成4年4月20日(月)までに連絡いたします。
3. 本論文は和文または英文(A4判用紙10枚以内)として、平成4年5月29日(金)までにご提出ください。

### 連絡先・論文提出先

情報処理学会 シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F  
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

## 「画像の認識・理解シンポジウム」論文募集

計算機による画像の認識および理解の技術的な課題を対象として、基礎理論、アルゴリズム、システム、応用と広い範囲にわたって議論することを目的として、標記のシンポジウムを開催することになりました。つきましては、この分野の一層の発展を目指して国内の関連分野の研究者が一同に集うこの機会に、下記のテーマについて論文をひろく募集いたします。奮ってご応募ください。

**日 程** 1992年7月16日(木)～18日(土)  
**会 場** 「かでる 27」(札幌市の中心部に位置する)を予定  
**主 催** 情報処理学会コンピュータビジョン研究会  
 電子情報通信学会パターン認識・理解研究会

### テ ー マ

- ・画像認識および理解のパラダイムおよび基礎理論、パターン認識理論
- ・画像処理一般、2次元/3次元形状認識、テクスチャ、色彩情報処理
- ・動画画像処理、ステレオビジョン、物体認識、情景理解、距離画像処理
- ・ロボットビジョン、産業応用、文書理解、文字認識、図面認識など

### 実行委員会

委員長 谷内田正彦(情報処理学会 CV 研究会主査(阪大))  
 白井 良明(電子情報通信学会 PRU 研究会委員長(阪大))  
 プログラム委員長 杉原 厚吉(東大)  
 実行委員 富田文明(電総研)、尺長 健(NTT)(CV 研究会幹事)  
 佐藤 誠(東工大)、美濃導彦(京大)(PRU 研究会幹事)  
 青木由直(北大)、川嶋稔夫(北大)

### 発表申し込み方法

A4判1枚(題目を含む)の発表概要(無記名、日本語か英語)3部に、A4判1枚の発表申し込み書(発表題目、発表者氏名/所属、5個程度のキーワード、連絡先の氏名/所属/〒番号/住所/電話番号/FAX番号/E-mailアドレス)を添え、下記の学会事務局までお申し込みください。実行委員会において審査を行い、採録するかどうかを決定いたします。

### スケジュール

1992年4月15日(水) 発表申し込み締切  
 1992年5月中旬 審査結果通知  
 1992年6月15日(月) カメラレディ原稿締切(A4判8ページ)

### 発表申し込み先(問合せ先)

情報処理学会シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F  
 Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

## 第 22 回 安全工学シンポジウム講演募集

期 日 平成 4 年 6 月 23 日 (火)～24 日 (水)  
場 所 日本学術会議講堂 (地下鉄千代田線 乃木坂駅下車)  
主 催 日本学術会議安全工学研究連絡委員会  
参 加 費 聴講自由 (講演予稿集は有料頒布)

### 講演申込要領

#### 1. 講演募集部門

- ・事故・災害に関する安全の概念
- ・安全と人間特性
- ・システムの安全性と信頼性 (リスクアナリシス, セーフティアセスメントを含む)
- ・事故防止に関する検査, 診断技術
- ・安全制御技術 (ロボット, 自動化システムを含む)
- ・建設に関する安全性と信頼性 (計画, 設計, 施工, 維持管理等)
- ・電気・電子・情報に関する安全性と信頼性 (コンピュータ関連, 故障診断を含む)
- ・機械に関する安全性と信頼性 (破壊解析, 構造健全性, 寿命予測を含む)
- ・交通に関する安全性と信頼性 (宇宙, 航空, 船舶, 車両, 道路等)
- ・燃焼・火災・爆発に関する安全性
- ・有害物質・環境に関する安全性
- ・その他の安全性に関する科学 (理学, 薬学, 農学, 医学等との境界分野を含む) ・技術・教育等

#### 2. 申込方法

A 4 判の大きさの用紙に「第 22 回安全工学シンポジウム講演申込」と題記し, 次の項目をもれなく明記のうえ, 返信用封筒 (250 円切手を添付) を同封し, 下記あてお申込みください。折返し, 原稿用紙および執筆要領を送付します。

- (i) 講演希望部門 (上記 1 項による)
- (ii) 講演題目 (あとで変更のないよう留意ください)
- (iii) 講演者氏名 (連名の場合は登壇者を筆頭に)
- (iv) 所属学協会ならびに会員資格 (連名の場合は 1 名以上が会員であること)
- (v) 勤務先
- (vi) 連絡先住所・電話番号
- (vii) 講演概要 (200 字以内)

3. 講演申込締切 平成 4 年 3 月 10 日 (火) (本原稿提出締切は 5 月 15 日)

#### 問合せ先・講演申込先

100 千代田区有楽町 1-12-1 (新有楽町ビル) (社)電気学会 第 22 回安全工学シンポジウム実行委員会  
Tel. 03 (3201) 0983 (調査課 榎間良弘) FAX 03 (3201) 1983





# 第五世代コンピュータ国際会議1992

INTERNATIONAL CONFERENCE ON FIFTH GENERATION COMPUTER SYSTEMS 1992

1992年6月1日(月)～6月5日(金) 東京プリンスホテル

## ごあいさつ

第五世代コンピュータ研究開発プロジェクトは、1990年代に重要となる知識情報処理を指向したコンピュータの実現を目指し、1982年に開始されました。その後、前期3年の基本技術開発、中期4年のサブシステム開発を経て、現在、第五世代コンピュータのプロトタイプシステムの開発を進めております。

このプロジェクトにおける研究活動は、論理プログラミングと並列処理を中核に据えた新しいソフトウェア、ハードウェアの研究開発という未知要素の多い困難な目標を目指してまいりましたが、幸い、その目標達成を目前にしております。特に知識処理パラダイムの展開と、その具体例としての並列論理型言語、及びそれにもとづく並列推論マシンのソフトウェア、ハードウェアは、他に類を見ない画期的なものとなりつつあります。

このような状況を背景にして、ICOTは、10年間の第五世代コンピュータプロジェクトの最終成果を広く世界に開かれた技術として発表するために、「第五世代コンピュータ国際会議1992(FGCS'92)」を開催することと致しました。この会議では、並列推論マシンを中心とした第五世代コンピュータの中核技術と、その広範な応用可能分野を例示することに重点を置き、デモンストレーションを主体に研究成果を発表する計画です。

FGCS'92は過去3回の会議、FGCS'81、FGCS'84、FGCS'88に続いて行われるものですが、FGCSは、すっかり重要な国際会議の一つとして定着し、今では、多くの一流の研究者、技術者、関連する企業や政府関係者が世界中から参集し、研究成果の発表と意見の交換を行う場として高く評価されるようになっています。

今回の会議も前回と同様に5日間を予定しており、前半の2日間はICOTの研究開発成果発表、招待講演など、後半3日間はテクニカルセッションにて、招待論文や投稿論文の発表、パネル討論などを行う計画です。

FGCS'92に参加することは、第五世代コンピュータプロジェクトの研究成果を理解する上で有益であるばかりでなく、諸外国における第五世代コンピュータ関連の最先端技術を把握できるとともに、各国の研究者との友好を深めるのに役立つものと確信しております。

この分野に関心をお持ちの皆様には是非、積極的にご参加いただき、本会議をより意義深いものにしていただきたいと念願しております。

第五世代コンピュータ国際会議1992  
実行委員長 田中 英彦

## 開催要項

### 主催

(財)新世代コンピュータ技術開発機構 (ICOT)

### 後援

通商産業省

### 協賛

(財)情報処理学会

(財)電子情報通信学会

(財)人工知能学会

日本ソフトウェア科学会

The Computer Society of the IEEE

The Association for Computing Machinery

The Association for Logic Programming

### 日程

1992年6月1日(月)～6月5日(金)

### 会場

東京プリンスホテル

〒105 東京都港区芝公園3-3-1 電話(03)3432-1111

### 会議公用語

6月1日、2日——日本語、英語(同時通訳あり)

6月3日、4日、5日——英語

### デモンストレーション

第五世代コンピュータプロジェクトの、研究開発成果のデモンストレーションを行います。

### 社交行事

・歓迎レセプション(無料): 6月1日(月)

午後6時30分

・バンケット(¥25,000/1名): 6月4日(木)

午後6時30分

バンケットスピーチ: 唐津 一(東海大学教授)

参加希望の方は申込書に記入のうえ、参加費を振込んで下さい。

### 参加予定人数

約1,700名

### 登録費

¥ 90,000 1992年3月31日までに

登録・入金済みの場合

¥ 110,000 1992年4月1日以降申込みの場合

¥ 10,000 学生

登録費には予稿集代(学生は除く)と消費税が含まれません。

### 申込み方法

参加申込みに関して、お問い合わせ及び申込みの資料の入手を希望される方は、下記事務局にて、電話もしくは、書面にてご連絡下さい。

### 事務局

〒108 東京都港区三田1-4-28

三田国際ビル21階

(財)新世代コンピュータ技術開発機構 (ICOT)

FGCS'92 事務局

電話(03)3456-3195 FAX(03)3456-1618

E-mail: fgcs92@icot.or.jp

### 組織

実行委員会

委員長 田中 英彦 東京大学

副委員長 古川 康一 ICOT

### プログラム委員会

委員長 田中 穂積 東京工業大学

副委員長 南宮 真人 九州大学

後藤 滋樹 NTT

溝口 文雄 東京理科大学

### 広報委員会

委員長 山本 欣子 JIPDEC

副委員長 村上 国男 神奈川大学

### デモンストレーション委員会

委員長 黒住 恭司 ICOT

副委員長 内田 俊一 ICOT

会議日程

	9:30	午	前	午	後	5:30	夕		
5/31 (日)	登 録								
6/1 (月)	全 体	あいさつ ICOT理事長 実行委員長 祝辞 通商産業大臣 基調講演 通商産業省機械情報産業局長 ICOT研究所長 報告 プログラム委員長		招待講演 Erich Bloch (米、前米司科学技術 財団長官)		ICOT研究開発総合報告 FGCSプロジェクト10年間の 概観 総務担当次長 FGCSプロジェクトにおける 基礎研究の展開 研究担当次長 並列推論マシンと基本ソフト ウェアの研究開発経緯 研究部長		歓迎 レセプション	デ モ ン ス ト レ ー シ ョ ン ( 午 後 )
6/2 (火)		会 議	招待講演 J.A.Robinson (米、シラキユース大学教授)		ICOT研究成果報告 並列推論マシンPIM オペレーティングシステムPIMOS 知識ベース管理システム 制約論理プログラミングシステム 並列定理証明システムとその応用 自然言語処理ソフトウェア 並列応用実験ソフトウェア		ICOT研究所 第1研究室 第2研究室 第3研究室 第4研究室 第5研究室 第6研究室 第7研究室		
6/3 (水)	テ ク ニ カ ル セ ツ シ ョ ン	招待論文及び一般論文の発表(下記4セッション並行)							
6/4 (木)		<p><b>基礎理論</b> 招待論文: Raymond Reiter (カナダ、トロント大学教授)</p> <p><b>アーキテクチャとソフトウェア</b> 招待論文: William Dally (米、MIT教授)</p> <p><b>アプリケーションと社会的インパクト</b> 招待論文: Ivan Bratko (ユーゴスラビア、ヨセフ・ステファン研究所教授)</p> <p>ICOT研究トピックス</p>							バンケット
6/5 (金)		招待講演 C.A.R. Hoare (英、オックスフォード大学 教授)		パネル討論 21世紀の情報処理への出発点 座長: Robert Kowalski (英、インペリアルカレッジ 教授)		閉 会 あい さ つ I C O T 専 務 理 事			

デモンストレーション

第五世代コンピュータプロジェクトの最終成果の展示とデモンストレーションを行います。  
特に、並列応用実験ソフトウェアのデモンストレーションにおいては、並列処理の手法とその効果をわかりやすく解説します。

- 並列推論マシン(PIM)  
プロセッサを1000台規模で結合したPIMを展示し、  
その上で、右のようなソフトウェアのデモンスト  
レーションを行います。
- 基本ソフトウェア  
本格的な並列オペレーティングシステム  
(PIMOS)  
知識ベース管理システム
- 先端的な知識処理ソフトウェア  
制約論理プログラミングシステム  
並列定理証明システム  
自然言語処理ソフトウェア など
- 各種の並列応用実験ソフトウェア  
並列VLSI-CADシステム  
遺伝子情報処理システム  
法的推論システム など



# CALL FOR PAPERS

International Symposium on  
Autonomous Decentralized Systems

# ISADS 93

March 30 - April 1, 1993 • Hitachi System Plaza • Kawasaki, Japan

Co-sponsored by



IEEE Computer Society



THE INSTITUTE OF ELECTRICAL  
AND ELECTRONICS ENGINEERS, INC.



Information Processing  
Society of Japan



The Society of  
Instrument and Control  
Engineers of Japan

in Cooperation with



International Federation for Information Processing



International Federation of Automatic Control

## General Co-Chairs

Stephen S. Yau, U. of Florida, USA  
Fax: 1-904-392-1220  
Email: yau@cis.ufl.edu  
Masanori Ozeki, RTRI, Japan  
Atsunobu Ichikawa, NIES, Japan

## Program Committee

Chair: Domenico Ferrari, UCB, USA  
(see submission address)  
Vice Chair: Kane Kim, UCI, USA  
Vice Chair: Radu Popescu-Zeletin, T.U.  
Berlin, Germany  
Vice Chair: Takashi Masuda, Tokyo U.,  
Japan  
Vice Chair: Masami Ito, Nagoya U., Japan  
Norman Caplan, NSF, USA  
Jung W. Cho, KAIST, Korea  
Jose B. Cruz, UCI, USA  
Newton Faller, UFRJ, Brazil  
Toshitaka Hidaka, Kyoto U., Japan  
Kei Hiraki, Tokyo U., Japan  
Jyh-Sheng Ke, Inst. Info. Ind., Taiwan  
Hermann Kopetz, T.U. Vienna, Austria  
Larry H. Landweber, U. Wisconsin, USA  
Gerard Le Lann, INRIA, France  
P.F. Linington, U. of Kent, England  
Mike Liu, Ohio State U., USA  
Kinji Mori, Hitachi, Japan  
Yoshikazu Nishikawa, Kyoto U., Japan  
G.L. Reijns, T.U. Delft, Netherlands  
Harry Rudin, IBM, Switzerland  
C.V. Ramamoorthy, UCB, USA  
Werner Sammer, Siemens, Germany  
Luca Simoncini, U. of Pisa, Italy  
Norihsa Suzuki, IBM, Japan  
Hideyuki Tokuda, Keio U., Japan  
Cheng-Wei Wang, Beijing Inst. Sys. Eng.,  
China

## Operation Committee Chair

Singi Domen, Hitachi, Japan

## Executive Secretary

Kinji Mori, Hitachi, Japan  
Fax: +81-44-966-6823;  
Email: kmori@sdl.hitachi.co.jp

## Scope

Continuous growth in the power, intelligence and openness of computer, communication, and control technologies has made it possible to realize highly beneficial and dependable business and control systems. Consequently, the adaptability, reliability, and expandability of application systems are steadily improving. Also, dynamically changing social and economic situations are requiring new-age systems based on newly emerging technologies and applications. Such systems are expected to have the characteristics of a living thing composed of largely autonomous and decentralized components. The systems may thus be called Autonomous Decentralized Systems (ADS).

ISADS seeks papers that will foster increased interactions among researchers and practitioners in computer, control and other related fields from academia and industry.

The scope of discussion on ADS shall include but not be limited to:

- Distributed and parallel computer systems/Large scale systems;
- Cooperative architectures (CSCW, ODP, DAF);
- Local and wide area networks/Intelligent networks;
- Fault-tolerance, real-time, expansion and maintenance, & software engineering technologies for ADS;
- Heterogeneous distributed information systems
- Decentralized-control, self-organizing and robotic systems;
- Manufacturing systems
- Biological and ecological systems;

Papers dealing with research, development, implementation, and applications of ADS, as well as surveys of the field, are welcome. A plant tour of leading-edge industries in Japan is planned as part of Symposium activities.

## Submission

Each paper must be limited to 6,000 words (in English), full-page figures being counted as 300 words, and must include a short abstract, a list of key words, and the lead author's address. Eight (8) copies of each paper should be submitted to the Program Chair. The lead author of each submitted paper will be notified of the acceptance or rejection of the paper. One of authors will be required to present their paper at the symposium. No submission of papers via FAX or Email will be accepted.

## Submission Address

Domenico Ferrari, Dept. of Electrical Engineering and Computer Sciences, University of California, Berkeley, CA 94720, USA.

For program information: Email: isads@tenet.berkeley.edu; FAX: 1-510-642-5775.

## Important Dates

Submission Deadline	July 1, 1992
Acceptance Notification	October 22, 1992
Final Version Due	December 29, 1992

## 書評・文献紹介・ニュース募集のお知らせ

情報処理学会文献ニュース小委員会では、学会誌「情報処理」に掲載する書評、文献紹介、およびニュースを、広く会員のみなさんから募集します。

### 1. 募集対象

つぎの3種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 文献紹介 過去1年間に発表された、本学会員にとって有益な海外文献の概要紹介。
- c) ニュース 情報処理に関連する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

### 2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。

### 3. 応募の手続き

原稿は、本会所定の原稿用紙か、ワープロ等を用いる場合はA4判の用紙に22字×44行の字詰めで書いて、下記応募先あてに郵送してください。

原稿にはつぎの事項を記載してください。

#### 1) 表題

書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格を書く。

文献紹介の場合は、著者名、表題（およびその和訳）、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を書く。

ニュースの場合は、見出しを書く。

書評、文献紹介、ニュースの別を左肩に書く。

#### 2) 筆者名・所属・筆者連絡先

連絡先（住所、電話番号など）の記載を忘れずに。

#### 3) 本文

書評、文献紹介は1900字以内で、ニュースは1000字以内で書く。

#### 4) (必要であれば) 参考文献、付録、図、表

#### 5) 筆者の自己紹介

氏名、会員の種別、経歴などを書く。(投稿時に写真は不要。)

詳しくは「情報処理学会機関誌原稿執筆案内」(1991年4月号掲載)を参照してください。

### 4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は文献ニュース小委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。書評の場合は評者の写真を掲載しますので、掲載決定後に写真を送っていただくことになります。

### 5. 問い合わせ・応募先

原稿用紙の購入先、原稿の送付先、および問い合わせ先はつぎのとおりです。

(社)情報処理学会 文献ニュース小委員会係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

## 日本複写権センター発足と複写権委託表示について

ご存じのとおり、著作物を複写するには、著作権法によって認められた特別の場合以外は、著作権者の許可が必要です。しかし、そのつど許可をえて複写することは、利用者にも著作権者にも不便です。

そこで先進 18 カ国では、複写権を集中的に処理するセンターが設置され、そこが著作権者から複写権の委託を受け、利用者とは利用契約を結んで、一定の料金をとり、複写を許可することによって、著作権者、利用者双方の便宜をはかっています。

日本でも、このような目的をもって「日本複写権センター」が、1991年9月30日に発足し、業務を開始しました。学協会では、このセンター設立に協力するため、かねてから日本工学会、日本農学会、日本歯科医学会、日本薬学会等の学会団体が学協会著作権協議会を組織して、傘下学協会の複写権の集中受託を行ってきました。

本会ではさきに会誌等の複写権を、前記協議会に委託しましたので、委託済であることを利用者が容易に識別できるように、該当する会誌等の目次ページに「複写をされる方に」という表示をすることにしました。

なお、学協会著作権協議会では、アメリカ合衆国の複写権センターである CCC (Copyright Clearance Center) と 1991年9月1日付で相互協定を結びました。本会は、前記協議会を通じて CCC にも複写権を委託しましたので、「複写をされる方に」の英文表示も併せ掲示します。

なお、日本複写権センターなどの詳細を知りたい方は、次にご連絡ください。

学協会著作権協議会日本複写権センター支部

107 東京都港区赤坂 9-6-42-704 Tel. 03 (3475) 4621・5618 FAX 03 (3403) 1738

## 特許関係の論文発表証明手数料の徴収について

これまで特許関係の論文発表証明書は、サービスとして無料で発行してきましたが、発行件数が平成元年度 23 件、平成 2 年度 40 件と急増して事務量の増加を招いています。

そこで、他学会が実施している例を参考とし、会員外から 1 件 1,000 円の手数料を平成 4 年 4 月 1 日以降から徴収することにしましたのでよろしくお願いいたします。なお、会員（賛助会社を含む）の方はいまままでどおり無料としますが、会員からの依頼を業者が代行する場合は、その業者は会員外として取り扱います。

注) 1. 会員、会員外を問わず、郵送で申込む場合は、必ず返信用封筒（切手添付）を同封してください。

2. 手数料 1,000 円の送金方法

郵便振替口座 東京 5-83484

銀行振込（いずれも普通口座）

第一勧銀虎ノ門支店	1013945	富士銀行虎ノ門支店	993632
三菱銀行虎ノ門公務部	0000608	太陽神戸三井銀行東京営業部	4298739
住友銀行東京公務部	10899	三和銀行東京公務部	21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 (社)情報処理学会

## 平成4年度会費および論文誌・欧文誌購読費の納入について

### (1) 平成4年度の会費および論文誌・欧文誌購読費の納入

前号本欄でもお知らせいたしました。平成4年度会費および購読費の納付書（郵便振替用紙）を1月中旬に発送いたしました。（会費、購読費は前年度と同じで据置き。）

会費 正会員 9,600円 学生会員 4,800円（大学院修士課程まで）

購読費 論文誌 4,500円 欧文誌 3,000円

申すまでもありませんが、会費および購読費は前納を建て前としておりますので、3月末までに率先してご納入いただきますようお願いいたします。

ただし、3年度請求額に対する不足額のある方は、2月20日までに未納の場合、3月号から学会誌および購読誌の送本を停止いたしますので、早急にご納入ください。（会費滞納者は9月号から学会誌・購読誌の送本を停止しております。）

#### 〔自動振替納入利用の会員へ〕

会費および購読費を3月27日に振替えますので、その前に預金残高を確認いただき、振替不足にならぬようにご留意ください。なお、振替金額は3月上旬にご通知いたします。振替えされた場合には預金通帳の摘要欄に「ダイヤモンドファクター」または「コウザフリカエ」と印字されますのでご確認ください。

なお、平成5年度会費から預金口座自動振替を希望する**正会員**（一括扱いの会員は除く）は、所定の預金口座振替依頼書（学会会員係へお問合せください）によりお申込みください。

### (2) 大学学部卒業予定の学生会員の会費

本年3月卒業予定の学生会員には、平成4年度会費は正会員（9,600円）として請求いたしました。ただし、大学院修士課程に進まれる方は、学生会員として継続できますので、会員番号を付し、大学院名・研究科名・専攻名・修了予定年月および学会誌の送本先を変更する場合はその宛先等をご連絡ください。

なお、1月上旬に「変更連絡届」用紙を送付いたしましたので、ご利用ください。

## 論文誌・欧文誌の購読のおすすめ

「論文誌」（月刊）および「欧文誌」（季刊）は有料頒布です。まだ購読されていない会員は平成4年度から購読されることをお勧めします。新規購読希望の方はその旨会費納入の振替用紙通信欄にご記入いただくか、本欄添付の購読申込書によりお申込みください。

## 新年度にあたって（お願い）

新年度にあたって、つぎの点につきご確認ください、ご協力のほどお願いいたします。

#### ●退会

書面（様式任意、はがき可）にてお申出ください。なお、3年度会費が未納の場合には、昨年4月以降送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求いたします。

また、3年度会費未納者には、これまで再三にわたり請求いたしております。納入いただけない場合には、本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

#### ●学会誌の送本先変更

勤務先、自宅住所に異動のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙（4月号、10月号に添付）にて会員番号を付し、早急にご連絡ください。

## 論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊)および欧文誌“Journal of INFORMATION PROCESSING”(略称 JIP・季刊)は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申込みください。郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は学会誌目次欄に記載してあります。

年間購読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円 (海外 7,000 円)

平成 年 月 日

## 論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申込みます。(該当欄を○で囲む)

会員 No. \_\_\_\_\_

1. 氏 名 \_\_\_\_\_ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 \_\_\_\_\_)

Tel. \_\_\_\_\_

送本先 (〒 \_\_\_\_\_)

注) 会員には学会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 ( \_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

b. 欧文誌“Journal of INFORMATION PROCESSING” ( \_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ \_\_\_\_\_ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

a. 現金書留    b. 郵便振替    c. 銀行振込 ( \_\_\_\_\_ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)

## 有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事の次第書（論文募集、参加案内等）の会告欄掲載は従来から有料で取扱い、協賛・後援行事については取扱っていなかったが、今後は協賛・後援行事についても希望があれば、下記により有料で掲載しますのでお知らせします。

なお、会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。また、教官募集欄の掲載は、平成4年4月号掲載分から、下記のとおり有料となりますので、あわせてお知らせします。

### 記

#### 1. 掲 載 条 件

件 名	内 容	掲載単位	掲 載 料 金
行事次第書	国際会議、シンポジウム、講演会、講習会等の論文募集・参加案内に限る	1 ページ または 1/2 ページ	(共 催)
			1 ページ 50,000 円 1/2 ページ 30,000 円
			(協賛・後援)
			1 ページ 100,000 円 1/2 ページ 60,000 円
教職員募集	学校またはその附属機関、公益法人、官公庁およびその研究機関等の教職員・研究員募集に限る	1/5 ページ	1 件当たり 20,000 円

#### 2. 申 込 方 法

B5判任意の用紙で、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先等を記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申込みください。

#### 3. 原稿の書き方

行事次第書：原則としてB5判カメラレディとします。B5判以外の原稿は縮少または拡大となりますのでご留意ください。なお、原稿作成にあたり様式（字の大きさ、ゴシック等）については、本誌会告記載内容をご参照願います。

教職員募集：求人側の必要事項を明記してください。

また、記事内容については本会は責任を負いません。

#### 4. 申 込 期 限

毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

#### 5. 掲 載 料 金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので、その翌月月末までにお支払いください。

#### 6. 掲 載 申 込 先

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 有料会告係  
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925



## 支 部 だ よ り

## 関西支部 第2回 ソフトウェア研究会

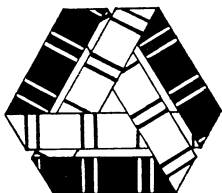
- 日 時 平成4年3月26日(木) 13:00~16:30  
 会 場 (財)関西情報センター会議室 (大阪市北区梅田 1-3-1-300 大阪駅前第1ビル8階)  
 定 員 約50名  
 資 料 代 600円  
 テ ー マ 「ニューロ・ファジィ技術」
- |                           |              |
|---------------------------|--------------|
| (1) ニューロ・ファジィの基礎          | 市橋 秀友(大阪府立大) |
| (2) 松下電器産業におけるニューロ・ファジィ技術 | 近藤 真二(松下電器)  |
| (3) 三洋電機におけるニューロ・ファジィ技術   | 谷本 好宏(三洋電機)  |
| (4) 東芝におけるニューロ・ファジィ技術     | 今橋 直樹(東芝)    |
| (5) 総合討論                  |              |
- 問合せ先 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2543

## 本会協賛等の行事案内\*

- |  |             |
|--|-------------|
| 講習会「テレビジョン画像の評価技術」<br>平成4年2月20日(木)~21日(金)        | 東京理科大学      |
| 講習会「高品質・大容量画像記録技術の最新動向」<br>平成4年3月5日(木)~6日(金)     | 東京・機械振興会館   |
| 第183回 講習会「どうすれば振動は防げるか?」<br>平成4年3月10日(火)         | 東京工業大学      |
| 第3回 計測連合シンポジウム<br>平成4年3月16日(月)~17日(火)            | 東京・日本学術会議   |
| 第184回 講習会「競争力を高めるための製品設計」<br>平成4年4月17日(金)        | 東京・中央大学     |
| 第6回 通信サービスシンポジウム<br>平成4年4月22日(水)                 | 東京・日本電気本社ビル |
| 講習会「情報機器のメカトロニクス基本技術の最前線」<br>平成4年5月28日(木)~29日(金) | 東京・中央大学     |
| 第7回 産業における画像センシング技術シンポジウム<br>平成4年7月7日(火)~8日(水)   | 東京・TOCビル    |
| 国際音声システム総合展<br>平成4年7月7日(火)~9日(木)                 | 東京流通センター    |
| 光メモリンポジウム '92<br>平成4年7月13日(月)~15日(水)             | パシフィコ横浜     |
| 電気学会電子・情報・システム部門大会<br>平成4年8月25日(火)~27日(木)        | 名古屋国際会議場    |

\*詳細は本号会議案内欄参照

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（\*：本年既掲載分，\*\*：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

国際会議

Expanding Access to Science and Technology

—The Role of Information Technologies (003)

1. 1992年5月12日(火)~14日(木)
2. 京都市国際交流会館 (京都市左京区粟田口鳥居町)
3. 共催: 国連大学・京都大学  
申込み先: 150 東京都渋谷区渋谷 2-15-1 東邦生命ビル  
国際連合大学 野口 純世  
Tel. 03 (3499) 2811, FAX 03 (3499) 2828
4. 参加無料

IFIP/Sec '92-8th Int'l. Information Security Conf. and Exhibition (\*\*036)

1. May 27-29, 1992
2. Singapore
3. IFIP/Sec '92 Conference Secretariat c/o HQ Link Pte Ltd 150 South Bridge Road #13-01 Fook Hai Building Singapore 0105

FPL '92-2nd Int'l. Workshop on Field-Programmable Logic and Applications (004)

1. August 31-September 2, 1992
2. Vienna, Austria
3. Program Chairman: Reiner W. Hartenstein, FPL '92 Computer Science Department University of Kaiserslautern, P. O. Box 3049 W-6750 Kaiserslautern, Germany Tel. +49 631 205-2606, FAX +49 631 205-2640, e-mail: hartentst@rhrk.uni-kl.de
4. Paper Deadline: April 19, 1992

国際ワークショップ「ロボットと人間のコミュニケーション」 (\*\*030)

1. 1992年9月1日(火)~3日(木)
2. 法政大学(東京)
3. 論文要旨送付先: 184 小金井市梶野町 3-7-2 法政大学工学部電気工学科 小林 尚登  
Tel. 0423 (87) 6187, FAX 0423 (87) 6122
4. 論文要旨締切: 1992年3月15日(日)

Int'l. Conf. on Data Transmission (005)

1. September 23-25, 1992
2. London, UK
3. DT92 Secretariat Conference Services The Institution of Electrical Engineers Savoy Place, London, WC2R OBL, United Kingdom Tel: 071 240 1871 Ext: 222, Telex: 261176 IEE LDNG, FAX: 071 497 3633
4. Deadlines for Receipt of abstract: March 9, 1992

92 Int'l. Conf. on Intelligent Information Processing & Systems (006)

1. October 30-November-1, 1992
2. Tsinghua Campus, Beijing, China
3. 豊中市待兼山 1-1 大阪大学基礎工制御社研 徐 剛 or 郭 硯 Tel. 06 (844) 1151 (ex. 4619)  
E-mail xu@ce.osaka-u.ac.jp
4. 原稿締切: 1992年3月15日

EDAC-93-The European Conf. on Design Automation

EUROASIC-93-The European Event in Asic Design (007)

1. February 22-25, 1993
2. Paris, France
3. CEP Consultants Ltd 26-28 Albany Street Edinburgh, EH1 3QH, UK Phone: +44 31 557 2478, FAX: +44 31 557 5749
4. Deadlines for Submission of Manuscript: September 2, 1992

DPSP '93-5th Int'l. Conf. on Developments in Power System Protection (008)

1. March 30-April 1, 1993
2. UK
3. DPSP SECRETARIAT Conference Services The Institution of Electrical Engineers Savoy Place London WC2R OBL, United Kingdom  
Tel. 071 240 1871 Ext: 222,  
Telex: 261176 IEE LDNG, FAX 071 497 3633

CIRED 1993-The 12th Int'l. Conf. on Electricity Distribution (009)

1. May 17-21, 1993
2. England
3. IEE Conference Services 2 Savoy Place LONDON WC2R OBL United Kingdom  
Tel. +44(0)71 240 1871, FAX+44(0)71 497 3633,  
Telex: 261176 IEELDNG

CAD/Graphics '93-The 3rd Int'l. Conf. on CAD & CG (010)

1. 1993年8月23日~26日
2. 清華大学(北京・中国)
3. 主催: Chinese Computer Federation  
国内連絡先: 筑波大学電子・情報工学系 西原 清一  
Tel. 0298 (53) 5525/5388, FAX 0298 (53) 5206
4. Deadline for submission: December 1, 1992

## 国内会議

## 講習会「テレビジョン画像の評価技術」

1. 1992年2月20日(木)～21日(金)
2. 東京理科大学(新宿区神楽坂)
3. (社)テレビジョン学会  
Tel. 03 (3432) 4677, FAX 03 (3432) 4675
4. 参加費: 正会員 24,000 円, 学生会員 8,000 円, 非会員 34,000 円

## 講習会「高品質・大容量画像記録技術の最新動向」

1. 1992年3月5日(木)～6日(金)
2. 機械振興会館(東京都港区芝公園)
3. (社)テレビジョン学会  
Tel. 03 (3432) 4677, FAX 03 (3432) 4675
4. 参加費: 正会員 20,000 円, 学生会員 8,000 円, 非会員 30,000 円

## 第183回 講習会「どうすれば振動は防げるか?—現代制振・防振技術の現状と将来—」

1. 平成4年3月10日(火)
2. 東京工業大学百年記念館(目黒区大岡山)
3. (社)精密工学会  
Tel. 03 (3362) 1979, FAX 03 (3367) 0994
4. 申込締切: 平成4年3月3日(火)  
参加費: 正会員 28,000 円, 非会員 42,000 円, 学生会員: 無料

## 「日本におけるアカデミック・ネットワークの相互接続の諸問題」シンポジウム(JAIN シンポジウム)

1. 1992年3月11日(水)
2. 東京大学工学部2号館(文京区本郷)
3. 東北大学電気通信研究所佐藤研究室 亀山 幸義  
FAX 022 (263) 9848
4. 参加無料

## 第3回 計測連合シンポジウム 先端計測 '92

1. 1992年3月16日(月)～17日(火)
2. 日本学術会議講堂(東京都港区六本木)
3. 主催: 日本学術会議計測工学研究連絡委員会  
申込み先: 東京大学工学部計数工学科 山崎 弘郎  
Tel. 03 (3812) 2111 (内 6915), FAX 03 (3816) 7805
4. 参加費: 無料

## 第184回 講習会「競争力を高めるための製品設計—新材料の生かし方—」

1. 平成4年4月17日(金)
2. 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区神田駿河台)
3. (社)精密工学会  
Tel. 03 (3362) 1979, FAX 03 (3367) 0994
4. 申込締切: 平成4年4月10日(金)  
参加費: 正会員 28,000 円, 非会員 42,000 円, 学生会員 無料

## 第6回 通信サービスシンポジウム—ユーザの目で、通信サービスをアセスメントしてみたら—

1. 平成4年4月22日(水)
2. 日本電気本社ビル(東京都港区芝)
3. 主催: (社)電子情報通信学会  
申込み先: 松下電器産業 東京情報通信開発センター内  
塚田 啓一, 片山 亮子  
Tel. 03 (3434) 6012, FAX 03 (3459) 0091
4. 参加費: 5,000 円

## 講習会「情報機器のメカトロニクス基本技術の最前線」

1. 平成4年5月28日(木)～29日(金)
2. 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区駿河台)
3. (社)日本機械学会  
Tel. 03 (3379) 6781, FAX 03 (3379) 0934

## 第7回 産業における画像センシング技術シンポジウム

—非破壊・非接触計測における画像処理を中心として—

1. 平成4年7月7日(火)～8日(水)
2. TOC ビル(東京都品川区西五反田)
3. (社)日本非破壊検査協会  
Tel. 03 (3863) 6521, FAX 03 (3863) 6524
4. 講演申込締切: 平成4年4月3日(金)

## Voice Systems Worldwide '92 Japan—国際音声システム総合展

1. 1992年7月7日(火)～9日(木)
2. 東京流通センター(大田区平和島)
3. 日本経済新聞社 事業局総合事業部 ボイスシステム  
ワールドワイド運営事務局 Tel. 03 (3270) 0251
4. 入場料: 1,000 円

## 光メモリシンポジウム '92

1. 1992年7月13日(月)～15日(水)
2. パシフィック横浜(横浜市西区みなとみらい)
3. 主催: (社)応用物理学会, 他  
問合せ先: 光メモリシンポジウム '92 事務局  
Tel. 03 (3817) 5831, FAX 03 (3817) 5836

## 電気学会電子・情報・システム部門大会

1. 平成4年8月25日(火)～27日(木)
2. 名古屋国際会議場
3. (社)電気学会  
Tel. 03 (3201) 0983, FAX 03 (3201) 1983

## 教官募集



### ○大学等情報関係教官募集

**東京学芸大学数学・情報科学科**  
 募集人員 講師又は助教授 1 名  
 所 属 情報科学研究室  
 専門分野 情報科学  
 応募資格 大学院修士課程卒業またはこれと同等以上の研究業績がある者で、35 歳以下が望ましい。  
 着任時期 平成 4 年 10 月  
 提出書類 履歴書（連絡先明記）、研究業績リストおよび論文別刷、研究概要と研究計画、業績を理解している方 2 名の名前と所属機関。できれば推薦状があることが望ましい。  
 応募締切 平成 4 年 3 月 31 日  
 送付先 184 小金井市貫井北町 4-1-1  
 問合せ先 東京学芸大学数学・情報科学科主任 松崎奈岐  
 0423 (25) 2111 (内 2612)

### 岩手大学工学部情報工学科

募集人員 助教授または講師 1 名  
 所 属 基礎情報学講座  
 (平成 4 年度に学部改組を予定しているため、所属講座が変わることもある。)  
 専門分野 計算機工学（計算機アーキテクチャ、情報ネットワーク、オペレーティングシステム、言語処理系、ソフトウェア工学、並列計算機などのいずれか）  
 応募資格 博士の学位があり、専門分野に関する十分な研究業績を有すること。  
 着任時期 平成 4 年 7 月 1 日以降  
 提出書類 履歴書、発表論文リスト、論文別刷り（コピーでもよい）、推薦書（1 通）または応募者について問合せ可能な方の氏名・所属・連絡先（2 名）、現在までの研究および着任後の研究計画を 1500 字以内にまとめたもの。  
 応募締切 平成 4 年 4 月 15 日  
 送付先 020 盛岡市上田 4-3-5 岩手大学工学部学部長宛「基礎情報学講座教官応募」と朱記し簡易書留。  
 問合せ先 岩手大学工学部情報工学科 太田原功  
 Tel. 0196 (23) 5171 (内 2655)

- (1) 実験方法の開発・改良に関する研究
- (2) 工学における境界分野の基礎研究
- (3) 新しい工学的システムとデバイスの基礎研究
- (4)～(10) 省略

なお、すぐれて独創的なものは上記以外の研究でも積極的にとりあげます。

助成の金額と期間

金額 総額約 2 億 8 千万を予定、1 件 2 千万円以内（本年度は 30 件程度を目標）。

期間 1 年を原則とします。

応募締切日 平成 4 年 3 月 2 日（月）

問合せ先 100 東京都千代田区丸の内 2-5-2（三菱ビル 15 階）  
 (財)三菱財団 Tel. 03 (3214) 5754

### ○財団法人神奈川科学技術アカデミー教育講座

#### 平成 4 年度第 I 期（5 月～7 月）受講生募集

最先端で大学院レベルの教育講座を 11 コース（各 20 名募集）開講。各コースとも週 1 日、8～11 週間程度。

#### 開講コース

- (新 素 材) ・材料システム工学コース  
 ・高分子新素材 (I) コース  
 ・複合材料コース  
 (エレクトロニクス) ・先端電子デバイス工学コース  
 ・イメージング工学 (I) コース  
 (超 電 導) ・応用超電導コース  
 (機 械 工 学) ・機械系 CAD/CAM コース  
 ・メカトロニクス (I) コース  
 (バイオテクノロジー) ・応用生物工学コース  
 (基 礎 技 術) ・コンピュータによる科学技術計算コース  
 ・電気化学的手法の新しい応用コース

受講料 各コースとも 7 万～10 万円

申込締切 平成 4 年 4 月 15 日（水）

問合せ先 213 川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 西棟 6 階  
 (財)神奈川科学技術アカデミー教育研修科  
 Tel. 044 (819) 2033 津田

## 編集室



### 会員の声

- Vol. 32 No. 11 に掲載した「ソフトウェアの品質評価に関する考え方と動向：ソフトウェア信頼度成長モデルに基づく定量的品質評価法」について

ソフトウェア信頼性モデルの考え方、位置づけが、ソフトウェアの品質管理上でどのようにとらえたら良いのか簡潔かつ明快に説明されており、大変参考になりました。

(奈良隆正 (株)日立製作所情報システム開発本部)

## 雑報



### ○第 23 回 三菱財団自然科学研究助成候補者募集

重点対象分野

## 「論文誌」への英文論文掲載と「欧文誌“JIP”」の統合について

平成5年1月から、現在刊行中の「情報処理学会論文誌」の国際化をはかることを目指して、英文論文も掲載することとなりました。併せて、表紙デザインを一新するなど、新しい装いの「論文誌」を平成5年1月から購読者にお届けいたします。

これにより、当学会の機関誌は学会誌「情報処理」と「論文誌」の2本立てに集約され、昭和53年に刊行された「欧文誌“Journal of INFORMATION PROCESSING (JIP)”」は本年のVol. 15をもって休刊となります。

上記により、英文論文は、季刊であった「欧文誌」掲載から、月刊の「論文誌」に採録順に早期に掲載されることとなりますので、英文論文の積極的な投稿を期待いたしております。

つきましては、英文論文の投稿者ならびに欧文誌の購読者の方々へ、次により変更内容をお知らせいたしますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

### 1. 英文論文投稿者各位

- (1) 既投稿者で9月末までに採録通知のあった論文は現行の欧文誌「JIP」に掲載いたします。  
10月以降の採録決定論文につきましては平成5年1月以降の「論文誌」に掲載となります。
- (2) 10月1日以降の新規投稿につきましては、本号巻末掲載の機関誌原稿執筆案内「情報処理学会論文誌 原稿執筆案内」によりご投稿ください。従来の欧文誌「JIP 原稿執筆案内」による投稿は受けません。

### 2. 欧文誌購読者各位

ながらくご愛読いただきありがとうございました。欧文誌「JIP」は昭和53年3月に産声をあげ、Vol. 1, No. 1を発行以来15年を経過しましたが、このたび論文誌に統合し、新たな「論文誌」としてスタートすることになりました。

つきましては、来年からも引き続き、新「論文誌」をご購読くださいますようお願いいたします。

---

## 情報処理学会論文誌「マルチメディア通信と分散処理」

### 特集号への論文投稿のおすすめ

#### 論文誌編集委員会

情報処理学会の論文誌において下記の要領で「マルチメディア通信と分散処理」をテーマに特集号を企画しております。当学会のマルチメディア通信と分散処理研究会が主催する研究会やシンポジウムにおいてこれまでに発表された論文、また本テーマに関連した論文を広く公募しますので奮って投稿されますようご案内いたします。

#### 記

- (1) 執筆要領 情報処理学会機関誌原稿執筆案内（学会誌1991年4月号）の論文誌投稿規定によります。
- (2) 査読手続 通常の論文誌投稿論文と同一です。
- (3) 投稿締切 1992年10月31日  
投稿論文には、『マルチメディア通信と分散処理』特集と朱書してください。
- (4) 査読完了予定 1993年3月末（照会も含む）
- (5) 特集号予定 1993年6月号

なお、上記のように投稿論文は一般投稿と全く同じ要領で扱われますが、査読が通常よりも迅速に行われ、かつ採録された論文は一括掲載されるという利点があります。

宛 先: F A X 03 (3584) 7925 (本用紙を含む送信枚数 枚)

住 所 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

情報処理学会 学会誌編集係 御中

発信者: (芳名) \_\_\_\_\_ (会員番号) \_\_\_\_\_

(ご所属) \_\_\_\_\_ (電話番号) \_\_\_\_\_

- (1) 学会誌の改善についてのご意見やご提案がありましたら自由にお書きください。  
「編集室」に掲載することがあります。その場合 実名可, 匿名希望, 掲載不可
- (2) 今月号 (1992年9月号) の記事の中であなたが読まれた記事及び今月号全般についてのあなたの評価をご記入ください。

\*評価は次の5段階でご記入ください。

5. 非常に良い    4. 良い    3. 普通／なんともいえない    2. 悪い    1. 非常に悪い  
0. 関心がないので読まない

小特集「並列アルゴリズムの現状と動向」

並列計算機と並列計算モデル.....

PRAM 上の並列アルゴリズム .....

SIMD 上の並列アルゴリズム .....

MIMD 型計算機の並列アルゴリズム—電気系 CAD への応用を中心として— .....

会員の声

連載「情報科学・工学、私はこう考える」

ソフトウェア工学、私はこう考える.....

コンピュータによる教育、私はこう考える.....

論 説

翻訳における「知識の普遍化」の変遷.....

解 説

Program Slicing 技術とテスト, デバッグ, 保守への応用 .....

エキスパートシステムの諸事例-V 金融ディーリング支援エキスパートシステム .....

寄 書

三次元グラフィクスインタフェースの標準化について.....

1992年9月号全般についての評価 .....

評 価		
総 合	分 り 易 さ	内 容
★	★	★
★	★	★
★	★	★
★	★	★
★	★	★